大正三年十一月一日發行 大正三年十月二十八日印刷納本
明治三十七年五月七日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）

第拾壹巻
第十號

要目

□我儕の祈禱題目
□萬國女子青年會祈禱週に際して……マクドナルド
□我輩の歸一主義……植村正久
□吾人の要求する女子大學……井深花
□實を結ぶ修養……吉崎彥一
□父なる神……外村義郎
萬國女子青年會祈禱週目錄

女子青年會第十一巻第十號

目次

□我儕の祈禱題目……
□萬國女子青年會祈禱週に際して……マクドナルド
□萬國女子青年會祈禱週目錄……
□我輩の歸一主義……植村正久
□吾人の要求する女子大學……井深花
□實を結ぶ修養（つゞき）……吉崎彥一
□偶感……辻村靖
□滿洲傳道……城戶順
□越後傳道……河井道
□神の忠婢……木岡莞爾
□小說ひとりぼつち後篇（第五章つゞき）……河井道譯
□歌……芽生
□聖書硏究（父なる神）……外村義郞
□彙報……
中央委員會……東京女子青年會……盛岡女子青年會……女子英學塾青年會……共立女學校青年會……信州上田幼稚園保姆傳習所青年會設立……消息……
□讀者便り……
□廣告……

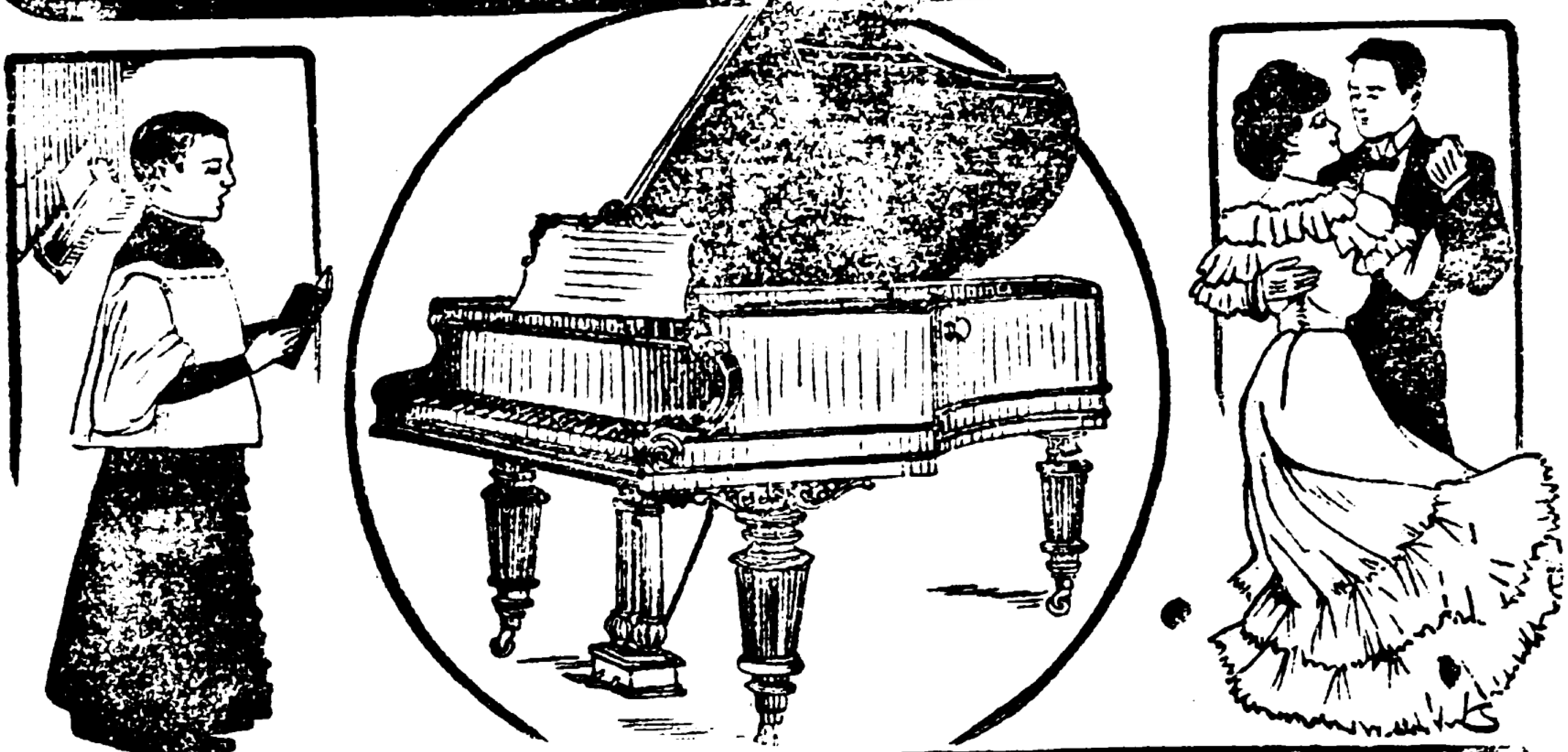
YOUNG WOMEN OF JAPAN

(JOSHI SEINEN KAI)

Volume XI　　November, 1914　　Number 11.

What Shall We Pray For?
The World's Week of Prayer ....Miss A. C. Macdonald
Topi s for World's Wcek of Prayer
Onr "Concordia" ....Rev. Masahisa Uemura
The Women's University We Require.... ....Mrs. Hana Ibuka
Fruits of Culture (2) ....Rev. H. Yoshizaki
Thoughts ....Mrs. Y. Tsujŀmura
Evangelistic Work in Manchuria ....Miss Jun Kido
Evangelistic Work in Echigo Province.... ....Miss M. Kawai
The Faithful Servant of God.... ....Mr. K. Kioka
"The Odd One" (9) ....Miss M. Kawai
Poems
Bible Study: Our Father in Heaven ....Mr. Y. Tonomurɩ
Miscellaneous:
The National Committee Meeting; Tokyo YWCA; Morioka YWCA; Ei Gaku Juku YWCA; Kyoritsu YWCA; The New Association in Baikwa Kindergarten Training School in Ueda; News of Associ tion Members.
Letters from Readers.

ピアノ・オルガン



營業種目

一、松本自働ピアノ　六百五拾圓
一、松本ピアノ　（自二百貳拾五圓 五百五拾圓迄）
一、松本オルガン　（拾八圓以上 貳百貳拾圓迄）
一、獨逸オットピアノ會社一手販賣店
一、獨逸ホーマイアピアノ會社一手販賣店
一、獨逸イバハ、ピアノ會社一手販賣店
一、佛國ウルマン、ピアノ會社一手販賣店
一、獨逸イルムラ、ピアノ會社一手販賣店

ハモニカ（獨乙ホーナー會社特製）（貳十五錢以上 貳圓五十錢迄）
手風琴（同上）（三圓八十錢以上 七圓迄）
ヴアヰオリン（内外各種）（三圓五十錢以上 百五十圓迄）
英、米、獨版樂書、廿錢樂譜

唯一唱歌雜誌 月刊樂譜（一部 五錢五厘 半ケ年 卅錢 一ケ年 五十五錢）

東京銀座四丁目
松本樂器合資會社
目録進呈
振替東京一三五〇五

信仰と實驗

植村正久氏序
木岡甲子男氏著

定價參拾錢郵稅四錢
菊判半截二一一頁
警醒社發行

〇福音新報批評　此書は信仰上の實驗を六十程書き集めたものである。著者は銀行員で忙い中から執筆されたものである。短い逸事的の話ゞあるが中には深い印象を與へるものも少なくない。小さい實話が大論文よりも信仰の助けになる事がある。傳道の盛んに行はるべき時に當り、此書は道に志す人の栞となるであらう。

〇都新聞批評　基督敎の信仰生活に於ける事實談を集めたるもの或は豪快或は優婉孰も人間內部生活の最も深奧なる感情を動さずば止まず啻に基督敎信仰生活に於ける樣々の實驗を見得るのみならず人生の樣々の實驗を縮寫したるものと見得べし有益にして興味ある小冊子也。

〇友人近信其一　昨夜木曜會席上〇〇兄より御高著御紹介有之小生は早速「難い哉傳道」を朗讀致し當時の御盡瘁の程を感謝致し候今朝早々全篇拜讀屢暗涙を催申候冊子は小なりと雖其信仰に益する處多大なるを信じ一部は只今未見の求道者たる姉妹に送付致さんと存候。

〇友人近信其二　貴著御送付被下日々拜讀仕候一二親友にも相分ち可申候尚一言感謝申上候は荊妻事先月上旬より病床にあり日々耽讀深く信仰上得る處有之殆んど韋編三絶の有樣にて日夜手を離さず候同人は三十年來耳病にて如何なる大家の名說も十分聽取するを得ず貴著の如きものを拜見仕候事唯一の樂みに存候。

〇著者へ直接御注文の方は郵稅不要十部以上前金貳拾五錢に割引可致候求道者向又はクリスマス贈物等に適當かと存候宛所は東京市牛込區市谷藥王寺町八四木岡甲子男。

女子青年界　第十一巻第十號（大正三年十一月一日發行）

我儕の祈禱題目

世界の大動亂に對して青年會員の祈るべき

懺悔　基督教會が基督の靈に充ちてありしならば今回の如き國際上の紛擾世界的大戰亂は勃發せざりしものを。

祈禱　今日の如き混亂時代に於ても我儕は活ける神の御聲を認め得るやう靜なる心をもてあるべく。

此世に屬せざる國と其實力を證する爲に基督に屬するものゝ國際上の愛と友誼關係の保持さるべく。

すべての青年會に於て犧牲的精神の發展と現今の場合に處する道を誤らざるべく。

すべての青年會幹事に於て偶發的なる今のすべての事件に對しても智識と勇氣を與へられ、且つ、幹事より世話せるものに對しても同情と愛の精神を以てこれを爲し得るやう。

危急に瀕せる會員のため、苦痛に在る會員のため、單獨にて敵國に在つて自國に歸る能はず通信杜絶のため寂しきに在る會員のため、親族の軍隊に在る會員のため、すべての缺乏によりて生活の艱難壓迫に逢へる會員のため。

現下の罪惡も亦人の怒をほむる神によつて支配され、終に基督の御榮を顯すに至るやう。

萬國女子青年會祈禱週に際して

マグドナルド

私共は來る十一月八日から一週間、例年の通り萬國聯合の祈禱週を守るので御座いますが、今年は特別に心の仕度をして祈りたいと思ひますことは、御承知の通り、この夏歐洲各國の間に平和が破れてから、其影響は東洋に迄も及びまして、現に國は國を撃ち民は民を攻め世界中の騒動となつて居るので御座いますが、此際、私共は基督敎信者として如何に時局のために祈るべきでありませうかといふ事を考へて祈の座に出たいと思ふのであります。言ふまでもなく、私共基督を信ずる者としては國と國との區別を立てるものではないので御座いますが、唯今の世の有様を見て、如何にしてか神よりの眞の平和を起し得る様に祈りたいと切に思ふので御座います。

基督が此世を去らるゝ前夜に『此は皆一にならん爲なり、父よ爾われに居り我亦なんぢに居る、斯の如く彼等も我儕に居りて一にならん爲め且世をして爾の我を遣はしゝ事を信ぜしめん爲なり』と祈られました事が約翰傳十七章二十一節に書いて御座いますが、其時代に於ても國民と國民との間柄が融合一致して平和であつて神の御心に適ふといふやうな譯ではなかつたのでありますけれども、基督は將來に對して其の希望をもつて祈られたので御座いました然るに、其希望は今も尚ほ完ふせられたのでありませんのみならず、今日のやうな世界動亂の狀態を考

へて見ますと、却て世の中は退歩して基督の時代よりも一層其希望とは掛け離れたのではあるまいかと思はれる位で御座いますが、是が私共の考慮を要する所でありまして、私共は今回の大動亂に依て深く自己の罪國民の罪全人類の罪を悟つて心底から神の前に懺悔し、現在の動亂に於ける物質的勢力を以て國家を維持せんとする迷想は全然根底から破壞されて、新しき希望の國即ち神の國、精神的の國を建設するやうに力を盡して働くべき決心を促す筈であると存じます。換言すれば今回の動亂を以て基督の祈られました希望に近く一の機會を作るやうに之を用ひねばならぬと確く信ずるので御座います。

今回の世界大動亂の原因は何で御座いませうか、私共は單に政治的又は國際的關係とのみ考へる事は出來ません、之に對しては私共基督信者と雖ども全く其責任を回避する事は出來ないと存じます。私共は自己の進歩も國民の進歩も、將た世界の進歩も一切物質的進歩に負ふ所が多いと考へた事は一朝一夕の事ではないので御座います。私共は神の國を建てるにも先づ物質的の成功又は進歩といふ事を深く考へた事は少なくはなからうと思ひます。この物質過重に傾いた其果ては即ち今回の大動亂を誘發したのではありますまいか、私はこの大動亂によつて神の力基督に屬する生活力の外に能力も權威も勝利も何にもあるものでないといふ事が、明白に私共に教訓される時機が到來したものと信ずるので御座います私共は神の前に跪いて過去に於ける大間違大謬想を言現はして、基督の祈の如く『彼等も我儕にありて一にならん爲め且世をして爾の我を遣はしたるを信ぜしめん爲なり』と祈る筈で御座います。さうすれば私共は獨逸人の爲にも墺太利人の爲にも、何れの國民の爲にも誠心から祈る事が出來ると考るので御座います。主の祈の中には『御國を來らせ給へ御心の天に成る如く地とも成せ給へ』とあります、之れ即ち私共共通の希望であります。この望ならば獨逸國民でも墺太利國民でも英國民でも露國民でも佛

國民でも日本國民でも、皆同じやうに各自の罪を懺悔して神の赦を祈り、共に神の國を建設する事に於て一度協力する事が出來るのであります。

考へて見ますと、今年は私共の信仰の試の時代で御座います。私共は現に慘憺なる戰亂の實際を目前に見て居るので御座いますが、しかし、目に見える事よりも目に見えない方に實際を支配する能力は存在するので御座いまして、目に見えない力即ち神の力は目に見へるものゝ、すべてよりも更に偉大な能力で御座います。神は時局をお支配し給ふのであります。私共は唯た其御力によつて一日も早く神國の建成を期し、お互に謙つた砕けた心を以て祈るために、十分準備をして祈の座に出るやうに致したいと、御勧め申上る次第で御座います。

萬國基督教

女子青年會祈禱週

格言 われ神の前に時を得るも時を得ざるも勵みて人を督し勸むべし。　提摩太後書四章一、二節

此祈禱週祈禱日錄は本年春より編纂されしものなるが、其撰ばれし題目が悉く「戰」に關してのものなりしに、其後端なくも歐洲より引て世界の大動亂の起るに至り我儕は現に全く「戰」の中に立てるものとぞなれり。嗚呼、戰の響は地の極にまで及べり、いざや神の武具に身を堅めて愛と祈禱によつて靈の戰に臨まんこそ、實にく我儕の責務にして、また我儕の本懷なれ。

十一月八日（日曜）

信仰の戰　（提摩太後書六ノ十二）

感謝 我儕は單獨にて立てるものにあらず常に基督と共に働くものなる事。〇すべての女子青年會が基督の力に依て勝利を得能ふを實現しつゝある事。

祈禱 我儕の眼前に横はれる働を一層確認するに至らん爲、之を確認すると同時に其働を完ふし得る力を與へられ、信仰によつて進み得る爲。

十一月九日（月曜）

傳道の勝利　（路加傳十五ノ十）

祈りながら全世界に於ける種々の艱難を念へ。

都會の下層社會に於て滅亡しつゝある靈魂は幾何ありや。（創世紀十八ノ二十、　十一）

等しく神の子供にして基督の福音に接せざるもの幾人ぞや。（馬可傳

六ノ三十四)
社會の不正の爲に欺瞞に逢ふもの幾人ぞや。(雅各書五ノ一—六)

亞弗利加。

▲埃及。チュニス。アルヂア。南アフリカ。英領東アフリカ。

感謝　埃及に於て去三月中集金運動の成功せし事。〇カイロ市に獨逸語の婦人のクラブの進歩の著しかりし事。〇佛蘭西クラブの創始されし事。〇地中海沿岸に於て夏期休養所の創設されし事。〇マホメット婦人の爲に寄宿舍の新設されし事。〇南アフリカに於て子供及工女の爲の働の進歩せし事。〇南アフリカの各所に於ける寄宿舍が負債なくして建築されし事。〇英領東アフリカに於て寄宿舍の爲に政府より地所を受け家屋建築の爲に充分なる寄附金を得たる事。

祈禱　各地に建築されたる寄宿舍に於て基督教精神と其感化の普及する爲。〇埃及の婦人教育上の大問題の爲に同國婦人が精神的眞理を知る爲、又其道の開けん爲。〇チュニス青年會の毎週聖書の組に青年婦人の多く導かれん爲、又既に出席せる婦人が一層熱心に働き他を導かん爲。〇女子青年會が一日も早く責任を以て黑人の爲に何等かの働を興すに至らん爲。

(註)　北アフリカの大部分はマホメット教信徒、人種は一定せず、女子青年會はフランス、イタリー、英國の若き婦女子間に活動す彼等は家庭教師商店員等なり〇南アフリカは七ケ所に歐洲人の爲の青年會を有し千六百の會員あり〇六市に青年會寄宿舍あり歐洲人の大部分は和蘭及英國人なり是等婦人の多くは教師店員タイピストの位地を占む〇西、東アフリカの青年會は教會と連絡ありミッション學校にて教育を受けたる女子は主として農業に從事せり此處にも歐洲人多く重に教師店員なり。

十一月十日(火曜)

何によりて勝利を得べきや。

神の國を望まずば祈らざるに若かず、然れども之を望むものは祈り且戰はざるべからず。

福音を宣傳によりて。(羅馬書一ノ十六、以弗所書一ノ三—十四)

青年會の諸の働によりて。(詩篇九十ノ十七、哥林多前書九ノ十九—二十三)

新しき召を受けば直に衷心より獻身すべし。(詩篇百十ノ三)

亞米利加。

▲カナダ。

感謝　從來國域尨大のため全國よりの集會には困難を感じたれど今年の修養會には普通的大集會をなすを得たる事。〇旅行者の友の働益々盛大となりし事。

祈禱　青年會員が各自に一層個人的に責任を感じて指導者の位地に立つものゝ多く起らん爲。〇國家的問題地方的問題社會的問題に對する婦人の責任は即ち青年會のすべての會員の肩上に懸れるを確認するに至らん爲。

▲合衆國。

感謝　過去に比して精神的に覺醒するに至りし事。〇外國傳道の興味の盛なる事。〇黑人の爲に最初の修養會を開設したる事。〇在米黑人相會して特に基督信者として合衆國及亞弗利加に在る黑人を神に導くべく特別相談を爲す運に至りたる事。

祈禱　青年會指導者幹事委員が個人傳道の必要また傳道の機會あるを確認する爲。〇各支部委員が青年女子の體育上の注意を增す爲。〇

女學生が直接同校生を導く爲、又社會的精神を進歩せしむる爲。○外國傳道の進歩の爲。

南亞米利加

▲アルゼンチン。ブラジル。西印度諸島。

感謝 アルゼンチンに於ける旅行者の友事業の進歩せし事。○同所に體育事業の開けし事。

祈禱 婦人にも男子にも道德的理想の向上する爲。○家庭の道德的訓陶の進歩する爲。○ブラジルの都會に幹事の送られん爲、又適當なる會館の與へられん爲。○委員が過去よりも一層責任を負ふに至らん爲。

（註） カナダには靑年會支部三十三、會員一萬六千二百二十人、學校内靑年會四十一、會員二千三百八十人總計支部總數七十四、會員總數一萬八千六百人。面積は大英州の三十倍にして人口は倫敦市と略同數。日本女子靑年會總幹事マクドナルド幹事カフマン兩姉は同地より派遣せらる。○合衆國靑年會は諸學校に六百九十八、會員六萬人、市邑に二百三十九、會員二十五萬七千四百三十七人、郡部に十一、會員四千二十人を有す。面積はカナダと殆ど同じ。日本女子靑年會のレーガン、ベーカー、マシウ、ページ諸姉は同地より派遣せらる。○南アメリカの宗敎はローマンカゾリック。敎育は不振。靑年會はアルゼンチン、ブラジルにあるのみなれども將來有望の地なり。

十一月十一日（水曜）

實際の勝利者。

（約翰一書五ノ四、五）

神の氣息によりて支へらるゝものは勇氣と樂とによりて何事をも爲すを得ん。

實際の勝利者たらん爲に信ずるものならざるべからず。（馬可傳九ノ二十三）

實際の勝利者たらん爲に强きものならざるべからず。（約書亞記一ノ六）

實際の勝利者たらん爲にすべてを獻げざるべからず。（馬太傳十六ノ二十四、二十五、馬太傳六ノ二十四、路加傳九ノ六十二）

實際の勝利者たらん爲に眞心を盡して兄弟に仕へざるべからず。（約翰傳十三ノ十二―十七、馬太傳二十ノ二十五―二十八、撒加利亞書四ノ六）

亞細亞

▲日本。

感謝 旅行者の友及社會事業の第一着歩として幼稚園を創設せし事。○すべての働に適當なる人物を得たる事。○意外なる寄附金を與へられし事。○雜誌「女子靑年界」の發行部數增加し經營獨立するに至りし事。○二ヶ所の寄宿舍が常に舍生の滿員なりし事。○聖書の組出席者の增加せし事。

祈禱 神田に新築する中央會館の爲に不足資金の與へられん爲。○既に信者たる會員及聖書の組出席者が基督敎主義のため剛く立つに至らん爲。○表面的理由の爲に決心する能はざるものが神の導にに從ふ決心を爲し得るやう强くならん爲。○學校卒業者にして敎員たるものが女學生を基督に導き得るやう强くならん爲。○現今の社會に於て益增加し來る各種の問題に對し之を解決する爲に全心を盡すの決心ある日本婦人の起らん爲。○現在の日本に於ける危急にして重大なる社會問題に對し一層深大の注意を喚起する爲。

▲支那。

感謝　本年に於て基督に從ふ決心を爲せし女學生の起りし事。〇外國にて教育を受けたる女子が歸國して靑年會に助力せる事。〇二三の靑年會館を得たる事。

祈禱　官立私立學校に在りて未だ基督教精神に接せざる女學生の爲。〇十人内外の新幹事の送られん爲、今年中に其人を得ん爲。〇三名位の支那人の幹事を與へられん爲。

▲印度。

感謝　本年に於ては靑年會役者の數は減じたるも神の惠と助によりて一般の働の遺憾なく維持されし事。〇カルカッタとコロンボの靑年會の負債の爲に寄附金を得政府よりは補助金と地面を與へられし事〇マドラスに新寄宿舍と四名の新幹事を與へられし事。

祈禱　總幹事、書記及十六名内外の新幹事を與へられん爲。〇すべての女學生が基督の精神を認めて人の爲に盡すに至らん爲。〇印度全國に正義の行はるゝ爲に女子靑年會が光明の中心とならん爲。

▲新嘉坡。

感謝　政府より建物と地面(寄宿舍の爲)を受けし事。〇支那婦人が靑年會の爲に助力するに至りし事。

祈禱　多數の日本婦人に對し未だ何等の施設なきを以て一日も早くこれが爲に働く人の與へられん爲。

▲土耳其。

感謝　土耳其帝國内靑年會支部同盟を作りし事。〇二人の幹事を得し事。

祈禱　年若き婦人の保護又は教育又は其進歩のために着手されたるすべての働の上に神の導と惠あらん爲。

(註)　日本の靑年會數二十會員數千八百二十一人、寄宿舍二宿泊所一あり。幹事九人(日本人一、外人八)。旅行者の友及幼稚園事業を創設したり。〇支那は支部會數三十三、會員數千三百人。面積は印度とビルマを二倍せし位。幹事十一人(外人)。〇印度は會數百六十六會員數九千、幹事三十人以上(皆外人)を有し頗る盛なり。マホメット教佛教基督教其他の信者混交せり、されど基督教徒の數最多し。基督教徒婦人間には教育普及せるも概して婦人教育は幼稚なり。

十一月十二日(木曜)

我等の指導者。　(約翰傳十三ノ十三)

自己の戰は假令單獨にて戰ふとも其は自己のみのためにあらず、勝つも負くるも世に感化を與ふ、若しこの事なしとせば基督の此世に來り給ひしは空しき事に過ぎざるなり。

指導者なくば働くこと能はず。(帖撒羅尼迦前書五ノ十二、十三)

指導者は其責に　じ常に神と共に在るべし。(約翰傳十五ノ五)

指導者は熱心なるも若し會員の奮發なくば何事をも爲す能はず。(彼得前書四ノ十、哥林多前書十二ノ二十八)

●濠洲。

感謝　會々の信仰生活が漸次深くなりつゝある事。〇會員數の增加せし事。〇聖書研究と修養會に益興味を有するに至りし事。〇建築及維持のために多額の寄附金を得し事。〇會員の外國傳道に對する注意が以前よりも增し來りたる事。

祈禱　社會上及職業上の働の各部增加せん爲。〇會員中にて基督の國を擴むる爲に個人傳道の振興せん爲。〇家庭を尊重する事が忠實に守られ、又それが爲に母の上に神の智識の特別に與へられん爲。〇

すべての指導者の上に、最も强き信仰、深き愛、廣き注意、及び最も熱き祈禱の精神の注がれん爲。

(註) 青年會は主として海岸地方に設立され會員數は約六千九百人なり。同國の面積は印度の約二倍人口は倫敦と略同数なるべし。財源豊富にして鑛業農業收畜共に盛なり。婦人は店員工女下婢等多し英國人の永住せるもの多く敎育等も從て他に比して盛なり。

十一月十三日(金曜)

戰の中。

如何なる場合にても如何なる所にても勝利は特に困難なり。(路加傳十二ノ三十二)

新しき働人の新任の場合に處する如き頗る困難なり。(馬可傳五ノ十八―二十、約翰傳十六ノ三十二、三十三、羅馬書八ノ三十一)

人は世界各地に散在して神國建設のために働き神の勝利を準備しつゝあり其數は益增加す、其奮發と神の恵の裕ならん事を祈る。(哥林多前書三ノ二―九、加拉太書二ノ七―十)

歐羅巴。

▲オーストリア。ハンガリー。

感謝 困難の日に働人と會員の上に力と助と導を與へられし事。○經濟方面困難なるに關らず物質上の助を與へられし事。○二つの寄宿舍に於て十分なる神の恵を受けし事。

祈禱 信者中に聖靈によれる一致豊なる愛心の與へられん爲。○聖書の組の出席者の信仰深くなりて神の恵と神に仕ふる責任を感ずるに至らん爲。○現今の困難なる場合に於て神の御榮を顯すやう働き得ん爲め。

▲イタリー。ポルチユガル。スイツランド。ボルゲリヤ。マルタ。グーリス。

感謝 社會運動發達のため又信仰生活の深くなるための新に應答ありし事。○ボルゲリヤに於て學生の爲に聖書の組を創設されし事。○ボルゲリヤに於て女學生寄宿舍の寄附金を得し事。○ポルチユガルに於て過去の恩佑の深かりし事。又此働に興味を有する人々の爲め。

祈禱 精神的にして人格ある指導者の與へられん爲。○すべての會員が基督に屬する生活をなし、且人を基督に導かん爲。

▲フランス。

感謝 全國修養會の好結果なりし事。○傳道の盛になりたる事。○一般に働の增加したる事。

祈禱 青年會が光明と生命の中心たらん爲。○指導者の爲、又聖書の組の着手せらるゝ爲。○現今の困難なる場合に　り神の御榮を顯はすやう働き得ん爲。

▲獨逸。

感謝 青年會事業の益發達せし事。○本年の修養會に於て會員の上に恩惠と靈感を受けし事。○本年一月青年會長の逝去によりて働の上に圖らざる種々の恵を受けし事。

祈禱 新會長の上に神の恵あらん爲。○全國の働は修養會によつて漸次に擴張されん爲。○各會員に責任を負る精神の一層增さん爲。○現在の困難なる場合に當て神の御榮を顯はすやう働き得ん爲。

(註) イタリー青年會數四十四、會員數千三百人。○フランス青年會數三百九、會員數一萬千三百七十五人。兩國共舊敎の勢力盛にして新敎徒少數なり。宗敎敎育に熱心にして青年會等に同情あるは概して新敎徒なり。○スイツランドは歐羅巴の南部、女子青年會は四

十年來の歷史を有し學生其中心たり。○ボルゲリヤ靑年會は最近の開始にして會員も少數なり、宗教は希臘教。○獨逸靑年會は教會附屬のものを合せて其數六千、會員總數二十五萬人、各階級の婦人に智德を涵養し!!體育を與へ、其等に就ての仕事をも與へ、教會牧師靑年會幹事等共同して之を導けり。

十一月十四日(土曜)

大なる援助者。

信仰あるものは一萬の敵に對するも猶ほ能く勝つを得ん。されど信仰なくば其三人にも勝つこと能はじ。

强からんと欲せば神の靈を受くべし。(使徒行傳一ノ八)

聖靈を受けんには其必要を感じ其力を知り誠心を盡して之を求むべし。(路加傳十一ノ十三)

基督耶蘇に於ける神の最も大なる能力を自己の心底に有し新しき人となりたるもの丶み勝利者たるを得べし。(腓立比書四ノ十三、哥林多後書五ノ十 、羅馬書八ノ三十七)

歐羅巴

▲オランダ。デンマーク。スイデン。ノールウエー。

感謝 女子靑年會の發達せし事。○スイデンに於ける本年六月の萬國大會の成功に就き。

祈禱 各國に於ける靑年婦人が救主に導かれて信者となり、且其靑年同胞を導く事を天職として働くに至らん爲。

▲英吉利。

感謝 特別に通常靑年婦人、女敎師、看護婦等の爲に開きし修養會より受けたる恩惠に就て。○移住者に對する働の發達せし事。

祈禱 女子靑年會に接觸する者が協同的生活より生ずる力を認識せんため又各自何等の貢献する所あるべく學ばんため。○宗教、社會、教育、衛生、休養其他諸事業の爲。○中央委員が眞に聖靈に充され勢力ありて其がため彼等の貢献が最高のものとならん爲。○女子靑年會が國家及都市より補助を要する國民に對し基督教的貢献をなす所あらん爲。○女子靑年會のすべての聖書研究組及聖書學校の爲。又勤勉にして新に充ちたる研究の必要を確認せん爲。○現在の困難なる場合に當て神の御榮を顯すやう働き得ん爲。

▲露西亞。

感謝 モスコー、リバル、ハーク等に新ホームの設立されたる事。○ワルソーに於けるホームの發達。及此等の場所に對し贊助及同情の喚起されし事。

祈禱 モスコーに於ける事業のため新に指導者の與へられん爲。○リーベルに於て會員の手によりて始められし兒童の爲働の爲。○搜索し得べからざる基督の富に達せんため今一層の深き熱き決心の起らん爲。○現在の困難なる場合に當て神の御榮を顯すやう働き得ん爲。

(註)オランダ靑年會三十。會員千三百人。○大英州及愛蘭靑年會千四百三十七。會員數九萬六千六百七十六人。靑年會は非常に少女部に盡力す。婦人問題を研究し婦人に對する法律の改良を圖りつゝあり。聖書研究と共に社會事業に心を注ぐ。外國へ三十餘人の幹事を出せり。○ロシヤの富は鑛業農業にして婦人は多く農に從事す。元來希臘教なれど近頃新教亦盛なり。ノールウエー、スイーデンは共に教育盛にして各階級の婦人靑年會を助くる者多し。ノールウエーは殊に政治思想盛にて婦人にして公務に關係するもの多し、故に靑年會の盛なる注目に値す。

我輩の歸一主義

植村正久

ポーロが昔しアテンスに傳道に行き『我は汝等の知らざる神をのぶ』と言つた。ギリシア人がよく知らずして拜せしことに同情を深くよせてよき信仰に導き彼等の信ずる處を貫徹させよふとした、此れ即ち基督教である、即ち其國にある道を全ふし其言はんとして言ひ能はざる點、爲さんとして爲し能はざるところを爲す此れ實にキリスト教の信仰である、丁度ちらりほらりと輝いて居る星に賴つて居た處に太陽の光がさし出て總てが實に明に晴天白日になつた樣な有樣である。主が『我が來るは律法をこぼさん爲に來れるに非で却つて此れを全ふせん爲なり』と言はれたのは實に此の意味である、主の世に來たられし御目的は在來の思想宗教道德をすつるに非ずして却て之を遂ぐるのである在來のものを補ひ且つ貫き實現せしむる目的であつた。基督教以前の宗教や道德が神に向ふて祈り求めた所をかなへるので主エスは即ち其の祈禱に對する答である、例ば我國では戰爭があれば直にどこそこの神社に奉幣使を遣して戰勝を祈ると云ふ事があるが而しかゝる事に現はれし神と云ふ觀念は實に幼稚である、我々から見れば我々は『汝等の知らぬ神を說く』のであると言ひ度い位である、祈は宗教の骨髓生命である、けれども此の祈もキリスト教以外の宗教の祈と我々のは非常な差異がある、愛にしても同樣である。聖書を讀むと愛と云ふ事は昔からある、而しエスによりて教へられし愛は新しきものである、愛は舊きものであるが併し主によりて教へられし愛は新しいのであるまた道德を只道を教ふるのみならず行ふ力を與ふる

ものであらねばならぬ、先夜安藤太郎氏の話に帝大の片山博士が或る雑誌に禁酒の事について書かれた中に『キリスト教では聖書のどこにも酒は呑んではならぬと言ふ事を書いてある所はないが而し其の信者達が此の悪習慣を取り去る爲にいかによく働いて居るか實に感ず可き事である而るに其の教の中に五戒十戒の中には明かに酒を飲んではならぬと云ふ事がかいて教へられて居る佛教家が此れを驅除すると云ふ所に來ると如何にも無力である事は大に僧侶諸君の御熟考を願はねばならぬ事である』との事を話された。此の實行と云ふ點に來ると實際倫理道徳に力を如何にして得可きかと云ふ事を研究する必要があるだろふと思ふ、愛、祈禱の精神總ての悪徳に打勝ち進む力等の諸點を考へ來る時には確かにキリスト教にて在來の宗教に於てなし能はざりし事を爲し得る力を持つてゐるし又爲し得る使命を持つてゐる即ち人類の待ち望みし事をキリスト教は與ふるものなりと稱する事が出來る。

今世界中何處に行きても宗教は實に萎靡したる有様で殊に我が日本に於ては紛々として亂れて居る、或者は歸一教會を起てんとした、キリスト教と神教と佛教と集つて相談して打合して何か一つ生み出し度いと言つて居る而し眞の歸一とは何ぞやと云ふ事がまた問題になつて來る、我々の歸一主義は總ての宗教を一まとめに主エスキリストに於て統一するにある、或書物に『ギリシアの有名なる美術家がジユピター神の肖像を作つた實に美しきものであつたが戰爭の爲に打壞された、而し今日キリストの肖像として世上に流布されて居る者は此等の昔の彫刻が名を變じてキリストの御肖像として世に傳るものが多い』とかいつてあつた。如斯實際人間がかくあれかしと待ち望んだものが皆總て主エスに於て實現された否實に主は其の實物であるのである、或英國の人がクリスト教の發達と云ふ書を著したが其中に奇拔な面白い節がある、始めに先づキリスト教がいかにしてかく世に行はるゝかと云ふ事に對する意見に曰

く『キリスト教はいかなる國に這入つても先づ其國に行はるゝ總ての事に洗禮を授くるからである、即ち其國に行はるゝ宗教道德習慣等にキリスト教の洗禮をほどこして自らの中即ちキリストの中に吸集するからである』とかいてある、而し自分は思ふに我々の教會で洗禮を志願する者がある時に無暗に洗禮をほどこさない用心して試驗して其上でほどこす、かくキリスト教が一國に這入つて其の國の種々の風俗に洗禮をほどこす事も先づ充分に嚴重に試驗をせねばかへつて害がある、著者は更に進んでユダヤ、ギリシア、ローマ、等に於て洗禮の進み來りし有樣をしるして居る、即ちユダヤ國に於ては試驗が大變に六ヶ敷かしかつた、而らば基督教は日本に入りていかなる洗禮をほどこしつゝあるか此れは餘程注意を要する事であらふと思ふ、先日も滿洲に傳道に行つた傳道師が其の結果を報告して言ふに自分は旅順に行つて先づ第一に招魂社に行き敬意を表したと得意然として報告した居た、此れなどは事によると亂暴な洗禮を施して居るのかも知れない。

天主教は餘りに無暗に洗禮を施した結果多神教主義におち入つた、或人曰く『天主教は小供の樣な可愛らしい所があるけれども併し大變に生長しにくい小供である』と云つた、實際修道院の生活など美しく無邪氣に素直に見ゆるが併し困る事には生長のわるい小供の樣である、我々も下手にすると人に傳道する場合に生長しにくき小供を造る樣な事がありはしまゐか、ポーロはユダヤ人にもギリシア人にも出來る丈調和した而し彼は割禮の事については火の出る樣な一命を賭する如き戰をして居る。

先年自分は或人の第四福音書について書いた本を讀んだ事があつた、其の書の事に第四福音書はエペソの有樣をよくかいて居る、若し此の書をヨハネが書きしものとすれば彼はガリラヤの一漁夫であつたからエペソに於て傳道して此の書をかくなどゝ云ふ事が如何にして出來るか、蓋し或は此の書をかきし人はヨハネと別人ではないかと云つて居る、此位に

ヨハネはキリスト教の話をするのに妙を得て居つた我々も日本にキリスト教をのぶる時にかくの如くキリスト教をよくかみくだいて眞に此の地の國の思想が日本の言語或は思想などとよく融和して一種日本特有のものとなる事が出來る樣に骨折らねばならぬ而しながら此のヨハネは一方に於て非常にやかましき人であつた、彼れの手紙を見ると彼れが如何に惡き思想また誤れる信仰を極力排斥したかがうかゞはれる、つまり傳道はかくある可きものである、ヨハネ傳十六章十二節以下を見ると『我なほ爾曹に多く語る可きことあれども今なんぢら曉ることを得ず然れと彼即はち眞理の靈の來らんとき爾曹を導きて凡の眞理を知らしむ可し』云々と云事がかいてあるつまりエスの殘されしキリスト教は未製品で漸次に開發されて新しき方面が開かれるのである、即ち此の順序によりて未製品なるキリスト教が追々佳境に入りユダヤ、ギリシア、ローマ等の國々に於ける如き洗禮を國々に於て種々の事に施しつゝあるのである、例へば歐洲に於ける四十日の斷食とかクリスマスとかは皆昔時の舊習慣に洗禮をほどこして今日キリスト教のものとなつて守られて居るのである、日本に於ても在來の舊習慣に洗禮を施しつゝあるのである、只其の施す方法に於て舊教に於ける樣に他宗教を丸呑にするか將よき基を置きキリストの精神に從ひて善惡を精練して試驗をきびしくして眞にキリスト化するにあるか要するに普通の歸一の方法を他から無理押付にするか或は妥協するにあるかである『總ての人汝等をほめたゝえなば汝等禍なるかな』餘程此の點に留意せねばならぬ、同じ傳道するにしても人を教會に導くにしても自ら信者になるにしても其の導き方によつて大に誤がある。

先日、或人が芝の教會で話をされた中に『キリスト教の神學は結論に達する爲に樣々の研究をするので其の樣にして研究して居る間に妙味があるのである』と云はれた、キリスト教は此所に妙味がある、靈魂不滅と云ふ事は昔からギリシア人も述べた。ま

た印度の宗教にも此の觀念は早くよりあつた、此の信仰に於てはユダヤ人が一番おそかつた、併し苦み惱んだ結果神の愛が深くわかり神と我々との間の關係はかゝるものであるならば我々人間は決して此の世限りではないと云ふ確信を得るに至つた、其の進むやまことに遲々たる觀があるが而し血の出る如き苦勞鍛に鍛はれし精神眞に生きた經驗より發した信念であるから深く胸中にしみ込んで居る、其であるからギリシア人の述べた靈魂不滅の說がいたづらに空論に流れて力なき時にユダヤ人の此の事に關する信念は力があつた、キリスト教に敎つてます／＼力ある樣になつた、世に惡錢身につかぬと云ふ諺がある、また熱帶地方は天然の恩惠が豊である爲に人民がなまけると云ふ事がある、我々の傳道も空相場に手を出して樂をして一時に惡錢を得んとするかまた熱帶地方で樂な生活をする樣にして多くの信者を得んとする樣な事があつてはならぬ、不健全な手段や何かを用ゐて傳道すれば一時は盛になるとも惡錢身につかずの譬に同じ、自分は昨夜、九月何日か發行の外國新聞を讀んで居つた、其中にロンドンの大なる敎會は開戰後日曜日の禮拜は非常に盛になつて居る、ロンドンの監督が戰場に出立するのを送る爲め會合などの開かれた事なども記してあつた、戰爭が開かれてより信仰ます／＼燃える、よく日本などて戰爭が起つたからなか／＼傳道が困難であるなど云ふ事をきく事がある、併し此れは大なる誤と思ふ、戰爭は眞面目に考へ來る時には此れによつてかへつて信仰に導かるゝ人が多いのではないかと思ふ兎角今の世の中にて現在と云ふ事を餘りに重く考へ過ぐる人がある、やれ菜食がよいとか深呼吸とか靜座法がよいとか云ふ人がある、自分は何も此れに對して決して反對ではない或程度までは贊成する事もある、とにかく如何したら身體が丈夫になるか力が得られるか、心に安心が出るかと云ふ事が研究されると云ふのも詰りは今日の世の人心が歸する所を知らぬと云ふ事になるのでないかと思ふ。飢かわく如

くに或物を求め現在のまゝでやむに止まれぬ有様で居るのを示して居るのではあるまいか、此所に傳道と云ふ問題が起つて來るのである。傳道と云ふ事をなすにもなか〳〵熟考せねばならぬ、ポーロの傳道を見ると彼の傳道には鋭き深さ明晰なる考へあり計畫あり而して後に實行し來る、併し時によると使徒行傳の十六章の六節七節八節を見ると彼れは案外、變通、自在、不意、の出來事によりて傳道をして居る、彼れの傳道には經綸もあるけれどもまた神の導によつて變通自在なる方法をとつて居る、我々ポーロの傳道に注意す可き事を彼れの傳道には經綸があつたがそれと同時に神の導きによりて生ける變化ありし事である、今の世の中に社會主義と云ふものがある、人間は自己の快樂幸福を一人占領する事が出來ぬと云ふのが社會主義者の述ぶる點である、今日我々も矢張り我々の得る幸福神の祝福を他に分たねばならぬ、かゝる點よりして我々を確かに愛の精神を全ふする様になる、信者の徃々云ふことはキリストを信ずる我々は我々の信仰生活の中にキリストを現はさねばならぬ徒らにのみ言ひて實行のない様ではいけない我々のつとむる商賣つとめ向に於て現はさねばならぬ」此れは一應大變にもつともの様に聞ゆるけれども此れ等の論を吐く人は口も又我々生命の一部分なる事を忘却せる人である、我々はかゝる誤論にまどはさるゝ事なく消極的に自らをおさむると同時に大に進んで積極的に働かねばならぬ口も手も足も總てをあげて働かねばならぬ、今日歐洲には戰端開け今や日本も其の渦中に入つて居る、人々が心命を賭して國の爲に働いて居る、かゝる際に於て我々キリスト教の傳道も一層眞面目なるものとならねばなるまいと思ふ、日本は如何にして統一す可きか如何なる精神によりて統一すべきか斯かる軍國の際に於て人々が生死の境にあつて最も眞面目に深考させられて居る際に日本の宗教を統一してよき洗禮を施し惡をすて善をとり根本的健全なる傳道を研究し得たいものである。（文責記者）

吾人の要求する女子大學

井深花

目下日本に於ける基督敎各派の間に一致協力して一の聯合的基督敎女子大學を設立せんとの企がある。去る十月三日女子學院に於て開催された日本女子基督敎教育會大會席上にても、此計畫に就て種々の報告幷に意見が述べられた。其際現時の宗教界及教育界に知られたる井深夫人は『如何にせば右大學に關する興味を惹起し得べきか』と云ふ議題の下に其の希望を發表された、僅々二三十分に足らぬ短時間ではあつたが、明晰にして流暢なる辯論は其卓越せる識見と豐富なる經驗とを遺憾なく吾人に傳へて頗る聽者に感動を與へた。自分も其會合の末席に連つて夫人の高見を歡迎した一人である。其期待せらるゝ處に共鳴を感ずるものは蓋し自分一人のみには止まらぬ事と信じて其の大要を摘錄して玆に紹介したく願ふた所以である。(一會員)

女子大學敎育に關する興味を喚起せしむるには、先づ實質を備へた立派な材料を社會に提供して、所謂實物敎授と同じ筆法に、一般公衆に對して女子大學とは如何なるものなるかを知らせねばならぬ。敷地の撰定に注意を要すべきは無論。第一校舍として宏壯な建築を要求する。從て諸般の設備も亦之に準ずるものでありたい。而して敎師には悉く第一流の人物を選みたい。現今敎育界學術界に重要な地位を占めて居られる人々を招聘しようとすれば勢ひ多大の費用を要する筈である。殊に私立學校は他の官立學校と異り恩給制度も無く、且彼等に對する社會の待遇も他と比べて多大の差異を生じ易き傾向があ

る故、彼等を特に優遇せねばならぬ。此事實は廣大な建物周到な設備と共に多額の費用を要する事であらう。然しながら若し節約主義を採り、或は情實を挾んで敎師の撰擇を嚴重に行はないならば、大學と云ふ名目に相應した內容を備へて世人の同情を購ふ事は到底難かしい。而して入學志願者が最初より多數ある事は望まれない故に、生徒の支拂ふ金額のみを以つて、此等莫大の費額に充つる事は全然不可能である。何れにしても、これは寄附を仰ぐか、其他の補充方法を講じて解決しなければならぬ。唯期待を未來に置て、永久的完全策を採るのが、成功に到る一番確實な又最も近い道かと思はれる。芝の白金に聖心女學院といふ女學校がある。カゾリック派の建設に係るものであるが、此邊に留意したものであらうか、最初より生徒の數を顧慮せずに、巨大の額を投じて內外の方面の充實に注意した。其結果であらうが、現今は可成り大勢の上流の子女を集めて來つた。此例によつても希望を前途に托して、永久的大々的規模のものを計畫して、人の視聽を聳たしめる樣な立派なものにしたく思ふて止まないのである

次に、修養年限に就て望む處は、男子が高等學校より大學に入る經過に比較して少なくも五年位の年限は設けたい。然らざれば當時行はるゝ高等科或は專門科なるものと大差なきに至る恐れがあると思ふ。又科目中に必ず科學科を設けて欲しい。我國の女子は一般に科學的智識を缺いて居る樣である。

一體、科學を講究するには材料に機具に多額の實費を要するので、各學校は其設備に困難を感じて、其結果、勢ひ實行の容易な文學などの方面にのみ涉り易い。此現象は自然子女等の理性を弱めて徒らに不健全な感情に流るゝ傾向を作りつゝありはしまいか。聯合大學に於ては充分此點に注意して科學を奬勵して貰ひたい。

文科の設けらるゝべきは云ふ迄もない事であるけれども。然しながら、其の敎材を撰む時に在來行はれつゝあるが如く徒らに葬られた古文學を研究する

に止まらず、生きた近代文藝の力を入れて欲しく思ふ。英文科に學んで、立派な英書を讀破し得る人が單に英語を教授し得るのみならず、其の能力を活用して社會に基督教的精神の横溢した文藝を紹介し、又た之を盡して貰ふやうに致したい。今よく之を致して居る人が幾人あるであろうか。此の大學に於ては其智能を諸方面に活用し得る人物を養成したいものである。或は卒業生が社會の活動上便宜ある資格を備ふるために師範科等の制度を置くも妙であろうが、目下新聞雜誌等の婦人記者に自白の女子大學出身者が多く、需要ある時は同校に申込を爲すといふ狀況を呈して居るさうであるが、聯合大學に於ても實力ある卒業生を多く出し、實際社會の各方面より陸續と同校出身者の採用申込が來る樣に爲たいと思ふ。時代の要求は高等女學校を數限りなく產出して當今では子女の婚嫁資格の一に高女卒業を數ふるに至つた。然れども日本の女子教育が此種の程度のものに止まつて居るべきでない事は明かな事實である先には必要を認められなかつた高女校が現今の如き發展を來したる如く、將來は女子大學制度が社會に普及さるゝ樣に成らねばならない。既に東北大學に於ては昨秋三名の女子を收容した。其他各種專問學校に入學するもの、或は海外に留學するもの、近來甚だ多い。時運は既に熟して居る。此際我等は奮つて此壯擧の爲に盡力しなければならぬ。

實を結ぶ修養（つゞき）

吉崎彦一

奈何にして實を結ぶべきかといふ問題は此位に止め置きまして結ぶ所の實其物は何人であるかといふことを次に研究して見たい。耶蘇が此所に近き將來に於ける弟子等の活動に就て語り居らるゝといふことは疑のないことでありませう。併しこゝに最も深き注意を要する問題は弟子等の事業其物を指して

實といはるゝのであるか、將たまた彼等の人格或は性格を指して實といはるゝのであるかといふことであります。吾等の修養の最大目的は活社會に出てゝ大に手腕を振ひ偉業を計畫完成して此一生を終るにあるのでありませうか、將たまた自我其物の發展と向上を計り大事業家といはるゝよりは寧ろ大人格として社會を益するにあるのでありませうか。吾等各自の結ぶ所の實は短かくいへばヅウインクであるかそれとも亦ビーイングであるか約翰第十五章のはじめにある葡萄樹の諷喩を讀んで見ますると、實を結ぶとは事業を行ふこと、今之を少しく具體的にあらはすならば傳道をするといふことに解するは適當のやうに見えます「我は葡萄樹汝等は其枝なり人もし我に居りわれ亦かれに居らば多の實を結ぶべし蓋汝等われを離るゝときは何事をも行し能はざれば也」と耶蘇は仰せられました。乍併實を結ぶといふ言句の中に存する最大觀念は事業其物に非ずして事業の本體、或は主人公たるパーソナリチーであると惟ひます。ゴーデーは此所に耶蘇がいはるゝ實を解して『靈的生命の産出と發達』であるといふて居ります。即ち我が中に活くる所の基督の能力によりて吾等の間にも亦他の人々のうちにも此生命が最も順當に顯はるゝを言ふのであります。弟子たる者の働は單にバプテスマを施すとか諸所に敎會を起すにあるのではありません、我が中にある活ける靈の生命を他人に傳へ移すにあるのであります。基督の像が我が中になつて我が像が基督の像に更る時に眞正なる意味に於て實を結んだといふことが出來ると思ふのであります。Ripening into the full stature of the Living Christ といふ言句がありまするが基督の中には入る許りではなく、基督の中に入ると同時に基督全體を充滿に至る迄わが全人の向上發展を計り之を完成する是れ即ち眞に熟したる實ではありますまいか。例へば吾等はキリストの謙遜を衣服のやうにして着て見まするど、小供が大人の衣服をつけたやうに實に大きい。吾等の謙遜を以て基督の謙遜を充た

さうと思ふならば更に多くの修養を積まなければ出來ません。耶蘇は山上說敎の結末に『主の名に託て敎へ、主の名によりて鬼を逐ひ、主の名に託りて多く異能を行しゝ者』に對して『われ嘗て汝等を知ず惡をなす者』といはれました。『天に在す父の旨に從ふ者のみ』天國に入るの資格を具へて居るのでありまして、言を換へていへば事業其の物よりも性格は天國民の保證となるのであります。耶蘇はまた他の場合に異邦の傳道を終つて歸り來りました七十人が惡鬼さへも我等に服從したといひて誇顔に報告したときに何と仰せられましたか。『惡鬼の汝等に服しゝことは喜とする勿れ汝等が名の天に錄されしを喜とすべし』と仰せられて彼等の間違つた考を正されたではありませんか或は『靈の結ぶ所の果は仁愛、喜樂、平和、忍耐、慈悲、良善、忠信、溫柔、撙節』なりとの聖保羅の語に照し、而して更に進んで耶蘇が此所に汝等の實をして存せしめなければならないと特に訓へられたる事を考へて見ますると、弟子等の終生の目的は其人格を磨き上げて基督の人格の如く光り輝かしむる所に存するのでありまして、事業其物は唯此の光輝ある、高貴なる人格のエキブレシヨンに外ならないのであります。何れの時代も有力なる傳道者、効果ある傳道を要しますが、現今の我國程其必要を感ずるものはないと思ひます。此秋にあたりまして御互に神に切實に祈り求めなければならない事は諸種の事業、多くの言を以て計量せらるゝ信仰よりも寧ろ言はず語らず動かざる中に尙ほ活動する所の信仰であります。第三、最後に來聽者諸姉の靜聽を煩はしたい問題は修養の源泉でありますモー一度聖句を讀んで見ませう『汝等の凡て我名に託りて父に求ふ所の者を彼をして汝等に賜はらんが爲に我汝等を立たり』と。實のある即ち効力ある信仰生活の此御言を味はつて見ますると基督を通して神より來ると言はなければなりません。言ひ換ふれば Christ in and through Prayer. 即ち祈禱の中に活

きて居らるゝ、祈禱によりて近寄り得る基督は我等の修養力の源泉でなければなりません。約翰傳によりまするど、耶蘇が此告別說教をなさるゝ迄未だ一回も『我名に託りて』といふ言句を用ゐ給はなかつたのでありまするが、十四章、十五章の兩章に六回の多きに亘りて之を用ゐて居られます。此時弟子等は始めて一方に父なる神と耶蘇との關係、他方に彼等と耶蘇との關係の尋常一樣のものでないといふことを深く學び始めたに相異ないと惟ひます。『我が名に託りて求ふ』とは耶蘇の意をもて祈ることであります。耶蘇の中に宿るときに、保羅の言句をかりていへば『基督の中に』あるときに私共は基督の『名に託る』のであります。然れば修養の源泉となる祈禱の中の基督は現實の基督といはなければなりません。私共は幾度となく耶蘇の人格と其事業を研究し而して之を誤らずに他人に語り得るやうになりましても、單に理知によりて達し得た耶蘇は我が靈と沒交渉であると思ひます。我が心の戸を叩いて徐ろに入り來り、我心の中に寓り給ふのみに非ずして此處に永久迄も住み給ふ靈の基督はこれ即ち祈禱の中に活きて居らるゝ基督であります。米國ボストン府トリニチー教會の正面にながき間此教會の牧師として又米國有數の說教者の一人として聲名赫々たりしフイリップス、ブルックスの像が立つて居ります併しブルックス一人ではない。此穩健着實なる監督の後に靜に立つて居らるゝ天使が一緒に彫刻せられて居る。彼は果して何人かといへば基督である。これは何を示したのであるかといふと、ブルックスに取りまして基督は眞にリアリチーであつた、彼は一刻も此現實の基督よりはなれ居ることが出來なかつた、特に教壇の上から活ける靈の基督はブルックスを通して語られたることを示したものと惟ひます。吾等は基督によれる修養を標榜します、吾等は修養を叫ぶ友人に向つて基督に來れと招きます。乍併吾等の見る基督、吾等の握て居る耶蘇は二千年前の過去の人物に止るのみでありますまいか。我は基督と果し

て親しく語りつゝあるのでありませうか、基督の御聲は我が耳朶をうつのでありませうか、われは果して彼のトマスの如く跪きて『吾が主、吾が神』と拜み得るでせうか。英語に The Tenderest spot of the heart といふ、言句がありまするが、基督は、我が心の斯る部分をおさへて居らるゝでせうか。私共各自に能力を與ふる基督は不斷我を取圍み我が中に住み給ふ、何時も現實なる基督でなければなりません。最後に今一つ附け添へて申し上げたいことは耶蘇が此言の中に祈禱の必要を說いて居らるゝといふことよりも寧ろ祈禱の何物たるかを眞に識り味ひ得る者は神を識り基督を我が信仰のオブヂクトとする人のみであります。Advance on your knees と或る聖者がいはれましたが、吾等にとつて上へ〳〵と進みのぼるべき唯一の途は祈禱であります。今迄申上たことを縮めるならば、實を結ぶ修養とは事業を最大目的として積む所の修養に非ずして人格の完成を目標とする修養である、斯る修養は現實の基督をはなれては不可能である、而して修養の價値を眞にアプリシエートし得る者は基督に選ばれたものであるといふことであります。それで私は別に新思想を紹介したのではありません。愛する姉妹方と共に主基督の聖語を今一度新しく繰り返し。其中に示されたる聖意に接せんことを努めたのであります。(完結)

偶感

辻村靖子

私は去る頃、某大佐夫人の自刄と云ふ、新聞の記事をよみ、其原因はヒステリー性の精神錯亂云々と、いつも世にあり來りのようにかいてあるのをみて、つうと讀過しただけで、ありやうは餘り意にもかけませんでした。其後又夫人は其嫁入ると聞き父中將から一口の短刀を與へられて、たとへいかなることあつても生きて再び生家に戻るなとの無言の訓誨を與へられたことがあるとき、又朝日新聞紙上に、某高等女學校教諭が、稍々其眞相を詳に述べ死者のために辯明してこれは一個人のことでない、由々しい社會の婦人問題だとの論鋒を向けられたのをみて何とも云へぬ悼ましさを覺えました。要するにこの出來ごとが、一身一家にかゝはる程の大事ではなく、嚴正な夫大佐の言行が、細心な夫人の心に耐へきれぬ程の苦楚を與へ〳〵た結果、ついに夫人をしてこの處置をとるの止むを得ざるに

至らしめたと云ふのが、云ふばかりなく心を動かしたのである。

　そして某氏の議論が如何にも生氣があるので、初に讀んだ時は、さては次號には謹嚴の筆法で、世上に質す所あつて憐れむべき女子のため、何等か與へて下さるであらうと、首をのべて期待したが夫は餘りに身勝手で多きを人に求めると云ふ者であつた。次號の立論婉曲にすぎて、これでは女子は、女子に生れ來つた薄命を、思諦めて居るべきであるか。將たまた弱い叫びながらも求むる所を訴へていゝのか。頭腦のわるい人には理解りません。とは云ふものゝ婦人のために言ひ婦人の爲に論ずる人は、著述にしても敎育にしても、有名な大家ですらよほど其論鋒を愼まれるような世の中に行き徹らぬとはいへ、この論あるけ深く論者に感謝する所であります。

　抑も家庭の紛爭は輕重こそあれ兩方に必らず多少罪のないことはないのだから、所謂喧嘩兩成敗で事情をも明にせず、一方を抑へ一方を揚げる譯にはいかない。殊に女人が、自から處決するまで思ひ迫つたには、如何なる秘密が其間に伏在するか知れぬから、輕卒に判斷するは愼まねばならぬが、假に反の合はぬ夫妻、苛察な夫に苦しめられる妻であつたとして觀ませう。廣い世の中には、惡妻に苦しめられる夫も悲慘な者でせうが、夫の横暴我儘に泣く、妻の身の上の數多いを、想つて貰はればなりません。男子が活世界に立つての經營苦辛は、もとより女子のよく理解つて夫を勞ひ夫を安め、及ぶべくば援け勵ますはもとより、身を致しても盡すのは當然ながら夫も亦其妻の內外に立つての心配りのまことに身を裂き骨を削る程の苦辛をを怒つて、詰らぬことを爭はず怒らず互に心を寬にもつて始終愛敬のまことを失ひたくないものと思ひます。これは偏に女子の爲ではなくひいては子弟の感化となり、反つて自己の幸福となるは、極く手近い所を見てもさうです。父慈しめば子は孝を致し兄憫れめば弟は悌を致す。相對の物でも優れた人から先に啓いて導びいてやるべきを思へば大抵夫は年も長け力に於いて頭腦に於いて勿論妻に勝れた者ですから過あれば言穩に諭し、無知識であつたら恥しめずに敎へたらどうでせう。道理に中つた小言は終身忘れず、身に過を掩つてくれた情のため命にすてゝ悔いぬほど人は意氣には感じるのです。これら堅實な男子を得た女子の幸福は、例へば百尺の喬木に這ひまつはる女蘿のようなもので、安らかに享けた天分を盡すのであつて。如何なる地位か、權勢か、富みか、これに易へるものがありませう。

所が若し一度女子選擇を誤つて、この反對の小人物に連添うたとしたらどうか。身に荷ひきれぬ辛勞を、訴へるに所はなく逃出てようとしても家はない。そこで自分を顧れば、何等獨立の出來る伎能もなければ、資產と云ふては嫁衣裳ばかり。血を吐くばかりの運命にあつても何を言ひ、何を論ずることができますか。偶に健氣な者が起つて、他の非を鳴らすものがあつたにせよ、社會は決して公平に判決はせぬ。さらば斷然と高く踏んで自分一身を潔うせうとすれば法律も我々婦人は保護してくれず、德義の制裁も女には嚴しい男子は殆ど何等痛痒をも感ぜず、たゞ婦人は其肉にも靈にも、癒しがたい瘡痍を受けて半生の幸福は水の泡にするのです。そこで名譽にひかされ、愛兒にひかされ、暗涙にくれつゝ忍ぶものであるが、忍び餘るのが、彼の往々、池の玉藻に黑髮をもつらせ、劍の光にきえを爭ふ、虞美人草となるのである。思へば不完全の結婚制度の下に浮世を知らぬうぶの少女を氣心の知れぬ人に嫁らせて、一應の理非もたゞさず、勿歸主義の往古の敎方は何と評しいゝか私には解らぬ。

纖弱い腕をもちそへて右から左から其命脈を斷つてしまうた後の日に、たとへ親夫が萬斛の悔恨の涙をそゝいでも、魂は招びかへせぬ。冷たい屍に溫たかい血はかよはぬ。

現今の婦人は知識こそは、男子と大した徑庭であるが、德義に於いて恐らくは、もう鞭韃の餘地のない程、節操を强ひ、柔順を强ひられてゐるのに、一方男子は敎育される時代を一貫して幼い時から身を立てる時季までたえて一言恕ある夫たれ慈ある父たれとは敎へられない。いかに執るところの職が同じでないにしても人類相互に盡すべき務に分毫の差があつてはなるまい。由來日本の敎へは尊き者强き者に厚く力なく卑しい者には太だ薄いが、之は決して完全の者でない。願はくば、敎育と宗敎との力をもて親の子を慈むがごとく、兄の弟を憫むが如く、夫が妻に對しては敬ひ愛して所謂賓のごとく友の如くする心掛ありたいものと思ひます。

私は男子に婦女に對する愼しみと、禮儀と云ふことを考へて欲しいと思ふと同時に、婦人もまたよく自重して、人の輕侮を受けぬやうに修養を積み、献身と云ひ犧牲と云ふのも、外から强ひられるのでなく緊乎した自分の觀念から、やつてほしものだと思ひます。

祈禱表

本月八日より一週間は例年の通り萬國女子青年會聯合祈禱週で申上る迄もなく各支部に於ても之を御守りになる事と信じます。若し祈禱表の行届かない方があれば何卒本部へ御申越下さい、本部は早速御送附申上ます。

日本基督敎女子青年會本部

東京市牛込區田町三丁目十二番地

滿州傳道

横濱女子神學校教授　城戸順

同姉は當夏日本基督敎傳道會社の依頼にて滿洲地方に傳道の爲出張され十月上旬歸濱されました。左に掲ぐるは横濱共立女學校に於て其傳道中の經過及所感などの講話の一節であります。

私が當校に入學致しましたのは日清戰爭の時にて又た、神學校に敎師として奉職いたしましたのは日露戰爭の一寸前でありました。此の兩戰爭のありました處へ自分は靈戰に出たのであります。そしてまた出立に際して思ひ出しました事は、女子神學校の献堂式に此の學校に屬するものは內地は申すに及ばず、朝鮮滿洲の光ともなるべしと申されました此の事であります。

始め門司より二日にして滿洲の大連に參り此處に二ヶ月滯在して日本の婦人會の下に働き、九月十五日には滿鐵で奉天に行きました。それより撫順、安東縣。此處より橋一つにて新義州に至ります。新義

州はもう朝鮮でありまして白衣をまとうた人々が多く居ります。それより平壌、京城、龍山を經て仁川に參り、また太田、群山、大邱を經て內地に歸着致しました。以上申上げました場所に於きまして婦人會其他の集會に證をたて、或時は牧師代に日曜說敎まで賴まれました。大連の傳道について少々申上げませう。私の主に働きましたのは大連の日本基督敎會內婦人會で御座います。大連は御承知の通り自由の都で、各國の人が集つて居ります。此處に住んで居る人の多くは、民數社、滿州鐵道會社、郵便局等に務めて居ります。其の他は商業者で御座います。基督敎の始めて此處へ入りましたのは、日露戰爭の時の天幕傳道事業と、其他の宗敎的集會出席の信者によつて作られた其團體とが、基督敎會といふものを組織いたしましたかの樣に存じます。最初は宗派は問はず、一つの敎會をなして居りましたが、信者も追々增加して、暫くの後に敎會が分れて、二つの日本基督敎會と、聖公會が一つとになりました。

殖民地の事とて、老人は少く、活氣に滿てる若い男女の集り居る處と云つてもよい位ひです。婦人等は故國を離れて居るため、親戚緣者の交際もなく、樂しき研究すべき事もなく、先づ暇な方である故、自然訪問は悅ばれ、また婦人會員の準備よき爲、婦人會の働きは大いに歡迎せらるゝ次第であります。私の滯在せし二ケ月を忙しく過されましたのもこれが爲でありました。私の働きました順序は、月曜が沙河口訪問、火曜が大連婦人會、午後は訪問、水曜は訪問、午後は在宅、木曜と金曜は訪問、土曜は在宅、午後研究會と、先づこの樣な順序で御座いましたが、追々人樣に親しくなりました時は土曜日などは朝の十時から午後の五時まで來訪者、聖書研究者のつゞきました事も御座いました。この以外にも家庭會、祈禱會、臨時集會などに夜分は出席いたしました。婦人會は數に於ても質に於ても誠によく、信者の婦人はよく活動し、來信者の婦人は集會によく出席すると云ふ有樣で御座います。大連の事は此の

位にして置きまして、次は大邱迄參りました間の所感を申上げませう。先年米國に參りました時は何處へ參りましても十字架のある教會が目につきましたそして日本で至る處に神社佛閣があるのと比較いたしましたが、滿洲でも、やはり教會の勢力がなかなか盛です。重なる町で一つの教會もないなどゝ申す處は御座いません。安東縣の宿屋で安息日を過しました時、朝一寸散歩がてら知人を訪ねて二三丁參りました時、もう教會が目にあたりました。又日曜學校も盛んで小學校教員、會社の女事務員等までが教へて居るのを見受けました。これは實に感謝の至りです。斯く基督教が盛んであると同時に他の宗教も其土地に入り込んで居りますから、隨つて傳道上競爭的の點も見えます。かゝる土地にあつて一つ殘念な事は外國人間に於ける日本人の噂が大層よくない事で御座います。それは多くの神を知らぬ日本人が日本國が戰勝國なるを笠に被て、支那人、朝鮮人を權利を以て抑へるからであります。或る時日本人が自轉車で此方から參りました處が支那人の車夫と衝突いたしました、所が近所の家から日本人が二三人出て來て其の支那人を非常に虐める樣は、とても目も當てられたものでありませんでした。これ彼等には誠の愛がないからです。國が違ひましても四海皆同胞の觀念ある基督信者の家では、それに引き換へて支那人が大層よい待遇を受けて居ります。又殖民地に來て居る普通の日本人とても決して皆惡いのではないと云ふ證も得ました。それは私が新義州から平壤へ參りました時、汽車の切符を失つた朝鮮人のために親切を以つて辯解をして居つた日本人を見ました事であります。其時は實に嬉しく、かゝる日本人の多く此の地に來らん事を心に祈りました。此處に於て信者の務は明らかであると存じます。外國人間の誤解の種となつて居る前に申上ました樣な日本人をして後に申上ました樣な朝鮮人を親切をした日本人とせねばならぬ事であろうと思ひます。そう致すには如何にしたらよいかと云へば基督教の福音の

種を播く事、即ち基督の愛を紹介する事の外に仕方はないので御座います。

越後傳道

河井道

協同傳道が越後地方にあるからとの依頼で十月十五日の夜行で上野を出ました誰も夜は便利ゆゑか各等とも滿員以上で鐵道院は喜び旅行者は苦む例の雜踏の中に坐を占め得たのを僥倖として到底寢るなどの恩惠にはあづかられぬと大人なしく覺悟をして兵士の靴下を編み出しました、輕井澤あたりの冷氣身に浸むも心持よく明方長野驛にて大部分の客の下車せしを以て少しは足を伸して休む事も出來ると思ふうちに高田につきました、爰で村上の村上牧師即ち加藤たか子さんの令妹いつ子姉と此の春新家庭を作られし方が乘車されましたので一夜眠の代りに休息せし私の舌は活動を始めました。此日の美しさまことに小春の名にそむかず田は既に刈り入れ過ぎて稻は間垣の如くに高くかけられ畑には農夫喜しげに立働き渺茫たる日本海が波一つも立てず朝日の光を帶びたる樣は人生の希望と喜悅を語るに非ずやと思はれました、車中同氏と共に米國なる高子姉に手紙をかき友人方の話を爲して間もなく柏崎に來て別れました。皆田牧師と數名の婦人方の歡迎を受け直に日本基督教會の講義所に參りました、此の地には組合教會と昨今開かれた此の講義所の外に講義所もなく將來有望な土地を見受ました。日本石油會社の伊藤一隆夫人とみ子姉は往年札幌にて親しかりしが上に長尾半平夫人なみ子姉の叔母君なるを以て青年會などの話をなし時の移るをわすれて居ました。やがて婦人會も開かれ午前中にもかゝはらず來會の多くして町内の重立たる方々の出席なりとか後にて聞きしが皆よく心をとめて靜聽されしを難有く思ひました會終れば既に十二時にて念入の御馳走にあづかり

十二時五十分に同地を發し午後二時過長岡につきました。プラットホームより名を呼ぶ人のあるを不思議と思ひ見れば此は昔時の兒島はる子姉今の佐藤夫人にして救世軍山室機惠子姉の御舍弟の許に嫁せられ此地に五年間家庭を作られて居るのであります餘りの意外に只驚くのみで且復年來の御無沙汰の恥かしく御詫もそこ〳〵に車にて女子師範學校に驅附ました。宗教談はせぬ樣にとの注意をうけつゝ三時に講堂にて職員生徒一同に講話をなしました。傳道に派遣されし者をとらへて宗教にふれぬ話をせよとの注文は餘りに無理な事ではありますまいかかゝる註文は旅行の度にありますので一日も早く正々堂々とキリストの御名を傳へ得る日を來し度いものと一層切實に感じました、幸其の筋の御とがめもなく一座の雜話をなし佐藤夫人に伴はれて市に於ける有名なる料理屋とかに招ぜられ夜の集會には御話の出來ぬまでに充分の御馳走にあづかりました。 扨開會までに少許の餘暇ありしを幸同市の所謂銀座通を一覽致し雪國に有勝なる庇附の下を歩き冬の日を想像しつゝ組合教會に參りました、聯合集會の事とてなかなか盛大なる集會にて『神の庭園』と云ふ題の下に福音を述べ次にウエンライト博士は『喜の福音』とて一時間に亘る趣味深き說教あり同夜は佐藤姉の宅に旅の疲を癒し前夜よりの汽車の塵埃を洗ひました御主人は御留守にて五才なる長男は東京の御實家に遣されしとかにて御留守には二才なる坊ちやまと奧樣のみにて靜なる一夜を其處に明し翌日未明に起き燈火の下に朝食をすまし一番汽車にて新潟に向ひました、恰も加藤勝彌氏貴山幸次郎氏笹尾粂太郎氏などの一行は今や新潟を出發の際にて多數の見送人且また出迎人などにて大變賑かに感じました、宿泊所は同地のミス、カーテス孃の所なりとて海岸近き砂山の欝蒼たる松林中なる西洋館にて邊も廣々と心持よさ譬ふるものなくかゝる靜なる所に數週間も靜養なさばなど出來ぬ願の胸にわき出づるをさしおさへ間もなく十時の婦人會に出席致しました。 新潟は基督

教の至極反對さるゝ上地柄にて牧師信者の定住者少なくまづ不振の地と見做されし所なるに加之以前同市の某官立學校にて牧師の演說聽衆に誤解を解き與へ爲に一層反對黨の盛なりとかきゝしに今回の協同傳道は信徒の熱心と準備の周到なるとにて此の婦人會にも集會者多く男子も可なり其中に居り皆眞面目に道を求むる樣子の現はれ賴もしく思ひました、午後一時半より縣立高等女學校内にて市内婦人衞生慈善會と敎育會との合併の會合にてまたも宗敎拔の精神修養談を乞はれました、同校出身者數名女子英學塾に在りしを以て種々の關係上興味深く感じつゝ且彼等の母校を精神上に救ふに至らん事を祈りつゝ大廣間に於て所感を述べました。夜の集會もあればとて早く其場を辭し海岸を半時間餘も散歩しつゝ歸宅し夕食後直に日本基督敎會にてウエンライト博士は『今は救の時なり』との演題にて自分は『麪包の問題』との題にて講壇に立ちました聽衆の大部分は青年學生らしく見受られ且つ彼等の容貌眞面目にして新進に滿つるやう覺えました、新潟市にある種々の專門學校及中學校等の爲に一意專心に働く人のあれかしと祈つて歸宅致しました。滯在中上野とし子氏の姉君田口清子氏の母君朝鮮なる橋本いく子氏の御兩親其他の方々に面會し或は訪問を受けなどして僅かに一日にして同地を去るを殘念に思ひしもせん方なく去る二日間は越後地方になきに々天氣とかなりしも日曜日午前八時五十分の列車にて高田に向ひました此日は空曇雨さへ途中より降り來り秋の靜さを深からしめました午後三時近くに高田驛に下車し直にメソデスト敎會に着すれば丁度笹尾博士の御話中にて時局に關し實に有益なる御敎訓を靜聽しました。來會者は此所にても學生多く婦人方は少數なりしも男子に基督敎は女子を如何と見るやとの敎育を爲す可きものと心得其方針にて講話を爲し散會後間もなく當市を辭して次の驛に下車し此所にて旅館に投じ旅の疲を安めました。青年會員田口清子氏保養の爲此の地にあるを幸とし一夜親しく信仰上の物語をな

し感謝じつゝ翌朝六時に袂を分ち十時に上田につくや上野梅香氏は一友人と共に出迎れました。ふと見れば昔の世良田春子姉今の三吉夫人も側に笑を含で迎はれ一別以來の挨拶を一口に述べ皆喜々として梅香幼稚園に參りました、途中町の兩側に旗提燈などにて賑しく何かときけば祭日なりとか時間のあらば參拜者と共に遠足もと思へど夫れより以上の大切なる而も樂しき用務を帶びての訪問なれば心も足も道を轉じて幼稚園に參りました。ミスハート、ミスバードや畠田姉の篤き歡迎を受け外は秋の上天氣羽織のうるさき心持内は人々の眞心よりの暖き歡迎にて花ならばほころび初むべかりしを無骨者なる骨と皮との人間は喜の意を現はすべもなく與へらるゝまゝに茶菓を頂き初見既に舊知の心持して大口あけて笑話に時を移しました。

此度同幼稚園傳習所に於て女子青年會の支部組織されし爲に諸姉に會見し青年會の精神又事業一般を紹介しまた先方の質問等に應ぜんが爲上田に立よりしわけでありますされば公會にて語るにあらで極親密なる小團體と會談故其の興味限りなく樂しく歸京の迫るを物憂く思はれました、されど驅け廻るが天職と生れし此身はまたも三時半の汽車に追ひ立られ愈々歸京の途につきました、車中ウエンライト博士笹尾博士に出逢ひ種々の教にあづかり且復罪なき英語をかはし信者ならではなし得ざる無邪氣なる一口話の數々を兩先生より敎へられ暮れ行く秋の景色を信州の山々に見つゝ雲間に隱れし淺間を怨みつゝ疲れの中にも感謝と滿足を以て夜十時上野に歸着致しました、かく傳道の種播を御手傳するとはいかに幸福なる事であるかと其の夜は感謝しつゝまた今回の行を全ふせしめんが爲に幾多の姉妹方の祈を感謝しつゝ其の夜は五番町の自宅にて安かなる夢を結びました。

神の忠婢

莞爾生

或る華族の未亡人、W牧師から蒔かれた命あり力ある種が。沃たる、心田に落ち、神の恵の雨と愛の熱とにより。次第々々に生氣充

實して、其の殼を脫ぎ。土塊を破つて。將に跳ね起んとする有樣となつた。又心の戸の外では「受洗」「受洗」と頻に囁くものがある。宗旨換は御家の一大事家憲の一ケ條を改むる事であるから、親戚の某、某に相談すべく牧師に謀られた。牧師は其の結果を看破られて未亡人に反問せられた「親に孝を盡すに、他人の同意を要するか」と。未亡人は「否」と答へられた。牧師は又も疊かけて「然らば天父に奉仕するは、人たる者の道なるに、何故親戚の承諾を求めんとするや」と切先利く切込まれた。未亡人も此一太刀で美事甲を脫ぎ今は謙遜なるキリストの婢となつて居られる。

或る海軍將校の夫人、信仰は日に〳〵熟して、ナルドの香油もエスには惜しからぬ思ひであつた。さるに良人は夫人に對して「說敎を聽くはよけれど、洗禮を受けてはならぬ」といはれたのである。夫人の信仰は塞き留めたる潮の如く、やがては堤も壞れん計りとなつた。一日T牧師に其苦痛を打明けられた。牧師はいと嚴かに「神に從ふは人の道である。キリストに救はれ、其の愛に觸れてこそ初めて良人にも貞操を完し得られ、又神より托されたる子女をも、缺けなく養育し得ん、義しき事の爲に責めらるゝ者は幸である。受洗何の憚る處あらんや」と力を込めて說き諭された。次の禮拜に夫人は感極つて、さめ〴〵と泣て居られた。牧師は怪しげに事の由を糺されたれば、夫人は口も重げに一言一句、涙と共に語るらく「先日の御說の次第を良人に告げんものと、幾度か〳〵心に鞭を打ち勵ましても心臆して語り得ず遂に祈を以つて有の儘を語りましたが、良人は少時默然、やがて、斯程迄に熱心であれば、洗禮を許すと申しました」とあとは嬉し涙に咽ばれたのである。今は良人迄も神の兵卒となつて居られる。

小說 ひとりぼつち後篇

河井道子譯

第五章（つゞき）

やがて一同は園内に出ました。マレーは此隅其木影を自作小說の背景の點より視察して居りますが、妹娘は野菜畠を垣したる古風の植木や草花も又往來稀なる緣下の亭より、土堤なす薔薇まで氣に入りて別ても此等の持主が人知れざる憂苦のありとせば尙更彼女の心を強く引付けるのでありました。母と主人の會話が愈々面白く彼の造詣深く趣味多きに感服して、嘸かし有益に日を送て居る事ならんと種々の想像は忙しう働きました。

恰度迎の馬車が玄關口の方へと來ます時、ベテーはヲルガン風入のマットが厩舍から出て來るのを見まして。

「貴君はマットを御存知なのですか？」

「よく知つて居ります、實に不憫な者でしたね。」

『誰でも不憫がりますがそれ丈では役に立ちません憐の情以上に何かしてやらねば不可ません。』

ヂェラッドは眞面目な微笑を浮べて處女を熟視るのみです。ス夫人は玄關口の石臺に腰かけ、マレーは母に肩掛や被衣を着せて歸る仕度に忽々しく、ベテーは主人とマットの會話を尙續けます。

『何をして遣り度いと思ひなのですか。』

『私は彼を慰藉てやり度いのです、甚麼一生を滿足して樂しんで送る樣にしてやり度いのです。』

『其は出來ても貴女や私の力で出來るものではありません。』と憮然たる紳士の詞にベテーは吐息ついて

『其は誰の力にも及ばぬ事でしよう。』

無言たること暫時にしてヂェラッドはいと靜に殆ど息の下に『我その途をみたり、我かれを癒すべし、又かれを導きて再び慰安をかれにかへすべし。』

一種の光明がベテーの顔を輝かし、希望の笑を湛へながらも友を見上た彼女の眼には露が宿つて居ります。

『其句は聖書からです、何處からの引照か忘却ましたが實に美しい句です、實際の事です、何卒マットが其を信仰する樣にしてやつて下さいまし』と云ひつゝ顔を背けて仕舞ひました、馬車は既に戸口に着きましたので、二人は最早何の言葉も交さずに別れました。

其の後ベテーは自分の部屋で聖書を開き引照の御蔭で漸と聖句を見出しました。

『イザヤ書とは思つて居たが矢張り然うであつたイザヤは何日も慰藉を與へる。アランデル氏は善人で自分の苦痛のある時は何處から眞個の慰安を得るかを御存知だから嬉しい事、併し善人ならば何して心配や苦勞があるのかしら、だが又其がなければ人間ではないでしよう。確にあの方は堅忍不拔の御方である。アヽ〳〵此句を次回にマットに逢たらば私からも云ふてやりましょう、益があつても害にはなるまいから。』

其後ス夫人の持病が再發して娘達の心配はなかなかでした。餘程快い方にむきましたが兎角、神經過敏で些細の事が病人には堪えられません。
『御前、少しは靜に出來ないのかい。』と何心なく座敷のものに觸り乍ら小聲で歌つて居たベテーを叱りつけました。
『御免なさい、氣が付きませんでしたので。』
『輕噪してゐる女は私は一番嫌だよ、御前は姉の樣にどうして落着て居られぬのだろう、絶えずせかせかして居るのは見苦しいものだよ、御客樣の時でも御前の樣子はその通りだ、御前は實に怠惰者だよマレーを御覧、一分でも手ぶらで居やしない。』
今日は母が少しは氣分も快さそうであり、マレーが疲勞して居るからとの同情より折角自分を運動にと誘ふてくれしラセル氏とマレーを伴けて出してやり自分は看護ときめて母の傍に居るに此の小言は餘り酷だと情なくベテーは思ひました。ス夫人としてもマレーが運動に行つたのは嬉しいが代りかベテーなどでは氣にくひません。
『御母樣は私に代筆もおさせなさらず、讀書しておきかせ致すことも御止めだし、仕立は出來上りましたので何もする事がないのです、オルガンでも彈きませうか。』
『全く御免、此頭痛に堪へられやしない。』
一寸默して又つゞけ、
『御前は辯解が上手だね、自分の態度を矯正そうとはしないで。加之生涯を無駄に送る積りかね、私は御前にも充分教育はした筈だが何の役にも立たぬ者を拵へた樣だ。私が御前の年頃には文學會の幹事に友愛會支部會計、勞働者倶樂部の創立者でした。』
『私は都に居りますと不興味茶話會や夜會に出る外に何もする機會が與へられません。私は何かしたいのですが、著述者は御免です、郊外に居るのが好きですから宿無しの群に這入たらよいのでしよう。』
『自分の事ばかり思ふて責任などの觀念は少しも持たず困つたものだね。其の心根を變化ねば目的の定

まらぬ不平滿々の女で一生を送り終りには我儘氣儘の奴隷となつて死ぬだらう。』

ベテーはこの無情の豫言と自分の役立ずか恐ろしくなり益々悄然として仕舞ひました、母の小言は彼女を常に失望の淵に沈めるのみでした、尙小言の續けざまの最中に姉の歸宅を良きしほに苦痛の胸を押へて郊外に飛び出ました。

『母には私は氣に入らぬ、マレー丈で結構なのだ、本當に私は役去者、何の爲に生れて來たのかしら、什麼して私には適當な職業がないのかしら、家を出て世界の極に十年でも廿年でも住むで何か成功するまで歸り度くないものだ、男子は那麼事が出來る學校では落第ばかりして見込のない樣な者でも海外に行き金滿家になるとか、殖民地の知事、大統領などになつてそれこそ故鄕に錦で歸る例も尠くないが、女子には那麼事も出來ない。一體私と云ふ者は家では一人餘計の者だ、小供の時から邪魔者と自分を思ふて居たが。』と獨言しつゝ牧場の木戸に凭りかゝり彼方の蒼天の一凝を隅視めて深き思に耽てゐます。

『一體全體神樣は私に何をなさせ下さるのかしら、神の聖意が理解たいこと、私だとて神の子を信仰してゐる、足らぬながらも神樣に事へんと努力はしてゐる積り、又神樣を愛して居るのだが過失だらけの此私、何時も失念て濟ぬ事をして居るのだ、母は私に愛想を御つかしだが神樣も御同樣かしら』と淚が最早堰止め難くなつてきました″其の瞬間に『今日は』と快活な聲がベテーを吒驚かしました。

〇

湯淺芽生

〇或時は絹やまとわん或時は手織物きん我女なり
〇南より暖き風ふきくなりめぐし我夫我子とをれば
〇この丘をくもでにはしる空溝の一雨降ば流跳るも
〇桃の實の滴る汁を啜ふ時の甘に似たる今日の訪れ
〇蟋蟀の泣きて眞暗き天地に我魂のこし逝る君はも

基督教一斑（二）

外村義郎

第二回　父なる神（エペソ書第四章六、七節）

神様については人によつて種々な考がある。或人は神様は數多くあるものと思つてゐる。しかし神様が數多くあるといふのは不思議なことであるが畢竟神様の數を殖すから多くなるので、試みに之れを反對に昔に溯つて考へてゆくと、神の數は次第に減つて遂には殆んど跡形が無くなる。つまり最初の人々は天を拜して居つたものに相違無いと思ふ、この點からいつても神が數多くあると云ふ樣には考へられぬ、又元來天に二つの日無く地上にある人には、父一人、母も亦一人である、一國に二人の帝王無く道理に二つは無い其如く神も亦數多くある筈は無い、どうしても一つでなければならぬ。或る老いたる信者が、

水あらば田毎に月は見ゆれども
　まことの月は一つなりけり

といふ歌を聖書に書いてゐたが實に面白いと思ふ。

次に宇宙萬有即ち神、神即ち宇宙萬有といふ樣な考へで居る人々がある、して見ると人も即ち神であると云ふことになる。しかして神である所の人が罪を犯すのである、此一事でも此くの如き考へは理屈に合はない事がわかる。

又或人は神は神、宇宙は宇宙で全く別々なものであつて神は宇宙から遠く高くはなれて居ると云ふ樣に考へて居る人がある、私し共は如此にも思はないのである。

さらば基督教でいふ神は、如何なる神であると云ふに天地萬有を創造し且之れを主宰し給ふ全知全能至善至愛のたゞ一つなるみたまにして何處にでも在さゞるところ無しと如此に考へるのである（使徒行

傳十七〇、二十四以下參照）

さて、其神を認めるには、如何せばよいであらうか。

神は今申した樣に靈なる神であるから、目で見、耳で聞き又手で觸れる事は出來ない。しかし我等には見る事の出來無いものを見る道がある、それは見得るものによりて見得ざるものを視る事である、たとへば一輪の梅花を見ても、たゞ心なしに見るにあらずしてよくそれについて考へてみると、其花のうちに神を認識する事ができる、或家の額に『梅花一點天地之心』と書いてあつたが、實際その通りである。何物を見るにも聞くにも、たゞ肉の目や耳を以てせずして心の眼を以て見心の耳を傾けて聞く時は確かに神を認識することができるのである。

又人には宗教心が有る。然るに天地の何處にもこの心を滿足させるものがないとすると、實に人間は慘酷に造られたといはねばならぬ、しかし人は決して左樣に慘酷には造られてゐないのである。必ず信仰には其對象となるべきものがあるに相違無い、加之も相當敎育のあるものならば夫れ丈け信仰の對象も高尙なものでなければ滿足は出來ぬ、彼のアイヌなどの樣に幼稚な者なら、彼等が今日もしてゐるやうに、柳の枝を或一種の形に作つて之を神と崇めて夫れで滿足してゐる事もできやうが、私共は斯樣な物では滿足できない、そこでアイヌの樣な低い信仰から次第に向上發展して、遂には前に述べたやうな全智全能至善至愛なる靈を見出ださないでは滿足できない、かやうにして眞の神を認識する事ができる。

又人間は小天地であると昔からいふが、その人間は如何につくられて居るかと云ふに、目に見える肉體と目に見えぬ魂とか二つからできてゐる。小天地である所の人間が斯うであれば、大天地もやはりこの通りに、見ゆるところの天地萬物と見えざるところの靈なる神との二つより成つてゐるに違ひない。私しは私のうちに魂がある如く天地に靈なる神があると云ふことを思はざるを得ぬのである。

尙又人間といふものは、實の親と其子とは假令別

れてゐても決してその情が絶える事はない。これと同じに人間と、人間を造り給へる神との關係は決して斷れるものでは無い、人間は皆神を慕はずには居られない心をもつて居るのである。されば神を認むるに最も大切なのは眞心である、無邪氣な幼兒の如き心である。この心があつたなら、神は直ぐわかるのであり升。

しかし今まで申した道筋は別段かわつた考へ方では無くして普通一般誰れも考へることの出來るものであらふ、然し基督教には全く方面を異にした道筋があります、それは私共が神を知らうとするより以上に、神が神御自身を私共に現して下さると云ふ事である、即ちその獨子エスキリストを此世に下して神御自身を現し給うた事である。エスキリストの御人格のうちに神御自身は現れてゐらつしやる。神は同情と愛とに滿ち給ふ父なる神であつて、其子基督に於て遺憾なく現れてゐらつしやる。この神を認め得てこそはじめて我等の宗教心は滿足する事ができるのである。かくの如く、我等はエスキリストによりて父なる神を認め之れを信じて決して疑はないのであります。

彙報

◉中央委員會

十月十日本部に於て開會されしが、出席者は井深花子。山田千代。鈴木歌子。長谷川喜多子。津田梅子。河井道子。ミス、ベーカー。ミス、マクドナルド。ミス、ソール。ミス、ウエスト。ミス、ページ。ミス、カフマン。ミス、エリス。ミセス、フイイシャー。三谷民子。ミス、ドートン。ミス、レーガンの諸姉及河口正子の十八人なりき。長谷川喜多子の聖書朗讀及山田千代子。ミス、ソールの祈禱をもつて開かる、報告協議の大要左の如し。

前會の記錄朗讀は三谷民子缺席に付、ミス、レーカン之に代り、次に横濱渡米者保護の件につき計畫中なるも四月歸朝されたるカリフオルニヤ日本人會幹事楠本六一氏の講演も同氏の病氣のため伺ふを得ず其の後大戰亂勃發のため未だ何等の進捗を見ざる由河井道子の報告あり。合衆國本部に提出すべき特別

豫算につきてミス、レーガンの報告によれば向ふ五年間に費やす費用は。

總額金六萬圓。その內譯は

一金五千圓　東京青年會館建築地購入費
一金壹萬圓　同館建築費
一金壹萬圓　大阪女子青年會館建築費
一金壹萬五千圓　京都女子青年會館建築費
一金壹萬五千圓　東京好友園建築費
一金五千圓　横濱女子青年會館建築費

にして、右の金額は單に米國本部に要求すべき金高にて全費用の幾分なり。會計報告は井上友子缺席につき、ミス、レーガン代りて朗讀し、今年は凡そ六千圓の收支出ありて昨年に比して約一千圓の進歩をなせし由。次に河井道子の報告あり。又本年度豫算案に就ては豫算委員を定め、其れに一任する事に、ミス、エリスの動議津田梅子の賛成によりて可決。豫算委員は、井深花子。井上友子。小此木松子。山田千代子。廣岡淺子。ミス、ソール。ミス、フイッシヤー。ミス、ウエストの諸姉となす。財團法人の件に就ては漸く牛込區田町日本基督教女子青年會を講義所となすの許可を得たれば、これよりは法人の許可も速ならんとの河井道子の報告あり。東京青年會一般の事業につきてはミス、ページより報告し。ミス、カフカンは好友園及日曜學校等の事業につき報告せり。雜誌に就ては河井道子より今年十月は一千三百五十部を印刷し昨年に比して大差あり尙次號は一千四百部出版の計畫なり、其の收入も昨年の四百七十七圓に比して今年は千〇九十二圓の多額を算し其の負債の如きも昨年の三百八十三圓七十四錢は僅々七十三圓三十一錢の小額に減じ益々有望なりとの報告あり。斯くの如く雜誌の發展せしは河井道子姉の盡力による事なれば中央委員會は特に感謝の意を表すべしとのミス、ウエストの動議、ミス、エリスの賛成ありて可決す。夏期修養會報告は河井道子之を述べ來る年の修養會に就ての興味ある意見等もありたり。猶ほ修養會に毎年御家も御子供方も凡てを

犧牲にして出席され會のため非常に盡力せらるゝ松宮信子夫人及雜誌編輯に多大の時間と努力を分たるゝ松宮彌平氏に中央委員會より感謝狀を差上る事に付河井道子の動議長谷川喜多子の賛成にて可決。其れより各女子青年會支部報告に移り學生青年會に就ては河口正子より報告あり。外人宿泊所につきてはミス、ダルトンより報告ありしが、之又歐州大戰亂の爲漫遊者觀光團等來らざる爲不經濟なるを以て暫時これを閉鎖する方却つて宜しとの事にて一先づ閉づる事に決し、其八月下旬に於ける決算の結果生ぜし三百圓の負債はこれを先きの豫算委員に一任する事に津田梅子の動議長谷川喜多子の賛成によりて可決す。又、ミス、ダルトンに特に其の御盡力に對し感謝する事ミス、ウエストの動議、津田梅子の賛成をもつて決す。横濱女子青年會の近況に就ては戰亂のためミス、マカアーサー來らず、新に幹事として赴任せしミス、ベーカーより報告あり。次にミス、カフマンを東京女子青年會代理幹事として、横濱女子青年會幹事としてミス、ベーカーを選定する事に滿場一致をもつて決したり。神奈川捜眞女學校青年會の入會申込に關しミス、ウエストの動議、長谷川喜多子の賛成をもつて他の青年會入會申込と共に憲法調査委員を造り、これに一任する事に決す。又ミス、ラオースの令妹逝去につき同氏に本委員會より弔辭を呈する事長谷川姉動議山田姉の賛成にて決議さる、ミス、マクドナルドにより指名せられたる修養會委員は、井深花子。小此木松子。長谷川喜多子。三谷民子。山田千代子。星野愛子。籾倉かね子。廣岡淺子。松宮信子。小池寶惠子。大川喜代子阪本花代子。黒田治子。上野梅香。ミス、ウエスト。ミス、デントン。ミス、ソール。ミス、マカーウン。ミス、レーガレ。宮川幹枝。吉田とみ子。柴田すゑ子大谷久子にて可決。次に地方に於ける雜誌委員として一條匡子。岡本翠。高折かねを。横澤つぎ子。森田松榮。石川靜子。指名され可決す。ミス、エリスの祈禱をもつて閉會す。

●東京基督教女子青年會　十月七日午後三時より委員會を催し種々の事項につき報告し又協議せり。

▲翌八日午後五時より好友園委員會を開く擔任者より幼稚園、母の會、ボーイスクラブ等につきて報告ありたり。

▲同十五日、近隣傳道の手始めとして幹事宅に本會附屬日曜學校生徒の父母兄姉を招き傳道講話會を開く、外村先生平易に基督敎に就て說かる集る者大人五十餘名小兒十數名頗る盛會なりき。

▲第一第二寄宿舍內にて目下十二三名の求道者あり皆熱心に研究中なり。

▲新入會員左の如し。

(維持)上柳ベン　栗原きやう　外村梅子
(普通)新海たか子
鹽川縫子　安田そよ子

正誤　前號新入會員中松瀨千金子は松波。廣尾つやは福尾の誤に付訂正す。

●來る十一月十五日午後二時　神田青年會館に於て女學生大會を開催する事に決せり辯士は河井道子。外一名は目下依賴中なり。

●盛岡女子青年會　拜啓秋冷相催し候をりから本部皆々樣には御機嫌麗しう日夜御心をくだき會の發展のため御いそしみの御事と存じ居り候さて當支部も豐なる御恩寵の下に變りなくいとさゝやかながらも主の御用にと會のため努めをり候間御休心下され度候、去る九月二十四日木曜日の秋季皇靈祭を好期とし幸にも京都青年會の栗原文學士が東北御巡回の途御來盛の折にて當會にて一般婦人のため一場の御講演をうけたまはり各自大いに得る處あり厚く先生に感謝いたしたる次第に御座候、出席せられし數は三十五六名にて御座候ひき、花と女性と題し實に現代の婦人としてそれぐ自覺して立つべき時に際しかゝる御講演を伺ひまことに幸福にて各々心の奥底に深く刻まれたる或るものを感じ申候。

●女子英學塾青年會　聖書の組は、九月二十五日より開始いたし候、從前通り本部よりミス、

マグドナルド。ミス、ページ。ミス、レーガン御出で下されノーマルクラス、三年二年を受けもたれ候一年級は多賀姉御病氣に付恩地姉に御願ひ致せし處早速御うけ入れ下され候、尚別科豫科は從前通り三年二年の有志者受けもち居り候、先學期としてはたゞ人形袋、人形の衣服、カード等を製しミス、ハッホン御渡米の際御もち下され御販賣を御依賴申し候、又夏休み初めより修養會までの間十月餘り修養會の買品又他より註文のベッドカバーを製し候、先學期は殊に會員一同の熱心なる助けにより意外に仕事はかどり役員一同感謝に堪えず候、夏期修養會には代表者十一名とし三年岩本、上野、深見。二年、稻沼、太田、長井。一年、荒木、鈴木。豫科、齋藤、江田。別科、河東田、の諸姉を選び申候、右代表者の外十名の出席者あり六名の多數の受洗決心者を出せしは偏に神の深き御惠み並びに諸先生の御熱心なる御講話、御祈禱の御力と實に感謝の至りに御座候、二十三日(水曜)三時より修養會の報告會を開き代表者は各々感話、早天祈禱會、夕陽會、組合、親睦會、販賣部等につき話し又新たなる樂しかりし一週間を追懷致し行かざりし友に惠の幾分たりとも分たん事を努め美しき感あふれたる會に候ひき。販賣部は青年會事業の一として多大の便利をあたへ居り候ひしが今回ウヰルミナ女學校の良心箱にならい自由に買ひ求め得らるゝ樣に解放致さんと計畫して數日中に實行すべく候。

●**共立女學校青年會**　當青年會主催となりて橫濱山下町海岸教會堂に於て十月二十三日、二十四日の兩日午後七時より協同傳道準備大演說會を催したり。其の辯士は廿三日は東京女子學院教授三谷民子女史、貴族院議員江原素六氏、廿四日は日本基教女子青年會總幹事河井道子女史、衆議院議員根本正氏なりき。

●信州上田幼稚園傳習所 女子青年會設立

心地よき秋の頃とは相成り申候折から御會にては

さぞかし皆々様御熱心に御活動遊ばされ御忙しく御すごしの事と存じ上げ候、扨當梅花幼稚園保姆傳習所に於てはかねぐミス、ボオードより有益なる女子青年會設置につき御話しあり上野先生も種々青年會の如何なるものなるかを御懇切に御説明下され候て私共生徒は大層其御目的に賛成し神様の御働きの幾分なりとも御助け致し得る事と喜び遂に女子青年會を設立いたす事と相成り申候。何卒今後は御會の支部として宜しく御指導下さるゝ様御願ひ申上げ候去る九月二十五日金曜日に第一回青年會例會を開き役員を選擧致し候、左のその概略のみを御通知申し上げ候。

司會者はミス、ボオードにて一同讃美歌二百六十三番を合唱し次に井上先生の聖書ローマ書十二章の朗讀及同先生の祈禱あり後上野先生より女子青年會の目的となす所及その模様の説明と會則の朗讀あり次に役員選擧をなす、役員選擧は三名の委員によりて指名せられたる各二名の候補者中より選擧せられ左の如し。會長、太田敏子。副會長、島津秋子。書記、菅沼義子。會計、高木千惠子。集會係、須藤ゑき子。後會費の事及び集會の種類と度數の如きは凡て役員に一任して主の祈をもつて閉會す、當日の出席會員は十五名なり。當青年會々員數は名譽會員七名、正會員十名、準會員三名なり。九月二十七日委員會を開く役員相談の結果青年會例會を毎月第二金曜日午後四時四十五分より開き而して會費は月額金三錢となし特別集會として祈禱會を毎週一回日曜日午後二時より幼稚園に於て開く事に決議す。

萬事は右の通りに御座候この後は凡て會員一同は出來る限りの力を盡して種々なる働きを見出し女子青年會の名の爲且つは神様の御福音のために微力を注がんものと存じ居り候。

●本部の求道者會　牛込田町女子青年會本部に於て十月中四回の求道者會を催したり、毎會頗る多數の來會者ありて惠ある集會を有つを得たり。

●女子青年會組織計畫　東洋英和女學校に

ては同校內に女子青年會組織の計畫あり、今回其代表者二名は本部を訪問しいろ〳〵打合す所ありたり

●學生女子青年會統計　大正三年十月調査

青年會數　二十	會員　二千〇百四十一名
聖書研究の組三十九	出席者　四百八十名
傳道研究の組　二	出席者　五十名
教師の爲に設けられし組	九
一年間に於る受洗者	百二十三名
青年會經營の日曜學校	二十三
會員の補佐する日曜學校	二十六
工場の爲に働ける青年會數	三
傳道の爲寄附せし金額	金四百五拾貳圓參拾四錢

消息

○久野久子　横濱女子青年會幹事たりしが今回辭職せらる御母公の御病氣は全快の由。

○ミス、ベーカー　久野久子姉に代り横濱の幹事として赴任、同姉は女子青年會をその住居と定めらる。

○岩光八重子　湯田きみの姉の後任として德山高等女　校に赴任。

○伊藤くわ子　女子英學塾卒業生たる同姉は十月七日布哇へ出發。同地に於て英語研究の傍日本語其の他を教授の由。

○大西絹子　今尚入院中なれど漸次快方の由。

○ミス、ワツトネー　東京女子青年會幹事なる同姉の令弟は英國にて御出征なりたり。

⊙ミス、アズグード　日本女子青年會新幹事として米國より派遣せられたる同姉は十月十日東京に着。

○河井道子　協同傳道應援のため十月十六日より柏崎、長　、高田、新潟に出張。

○八田しをり子　十月上旬男兒出產母子共に御健全。

○橋本幾代子　朝鮮京城なる同姉は今回男兒出產日立至て宜しき由。

○高倉せん子　十月女兒出產母子共御壯健の由。

○仁羽淸子　在朝鮮京城なる同姉は九月中秋山眞男氏と御結婚。

○三谷民子　協同傳道のため十月二十三日靜岡に出張。

○奬學金候補者　米國留學奬學金候補者の試驗は十月二十三日を以つて東京女子英學塾に開始されしが應募者は、仙臺より横澤つぎ子神戶女學院より內田ふみ子、新潟より佐藤とき子、東京より恩地かずゑ横濱フエリス女學校より大友きよ及び河村智子の六名なりと。

●第九回夏季修養會會計報告

（大正三年七月二十一日より二十八日迄大津に於て）

一金千〇貳拾四圓六拾六錢五厘　收　入

內　譯

金九百參拾九圓五拾九	會費及宿泊料
金五拾九圓九拾七錢	寄附金
金拾六圓貳拾壹錢	雜收入

金八圓八拾九錢五厘　日曜献金
一金千〇五拾圓參拾參錢五厘　支出
内譯
金八百六拾五圓拾貳錢　宿泊料
金拾壹圓七拾五錢　宿泊料の返戻
金百〇七圓　謝儀
金拾五圓　看護婦手當
金拾五圓　女中心付
金四圓四拾七錢　事務費、雜費
金拾五圓　オルガン損料
金八圓拾錢　印刷代
金八圓八拾九錢五厘　東京青年會事業寄附
差引金貳拾五圓六拾七錢　不足

義務金

萬國女子青年會は例年聯合祈禱週の際會員一名に付金四錢宛醵金し在倫敦同盟本部に送り俸給事務通信諸費に充る規定に候へば何卒日本女子青年會各支部にても御取纒の上（支部なき地方會員は直接）本部迄御送金願上候。

東京市牛込區田町三ノ十二　日本基督教女子青年會本部　振替口座東京貳參七貳參番

讀者便り

○遠足の話ばかり致して居ります

横濱　井戸本小夏

先日學校へ外村先生が御光來下さいまして御自分の御經驗を話て下さいまして實に有益で御座いました、先生の御話で信者未信者とも感動されました、先生は御疲にもかゝはらず一通りのお話の後未信者の爲又有益なお話をして下さいましたので小さい方でも感じない方はありませんでした其後で今日は信者にお話をして下さいました其の話の內容は誰でも見ゆる物には同情をよく寄せますけれども目に見えない物に同情する事が信者のなすべき事であり又私共は何にも出來ませんけれども神樣は何かのためにおつかい下さいますと申されました私はこれとて出來る物はほんとにありませんけれども自分で出來るだけ忠實に勉强し力の及ばぬ處は神樣にして戴きまして何事も致さうと思ひますいくら出來ませんでも神樣は何かの方面へ御使ひ下さいます事と思ひまして喜んで居りますそれですから失望など少しも致しません今日は日曜學校へ參りましたが是までは日曜學校へ行きましても誠に無責任で御座いましたがこれからは小さい子供と一緒に神樣の事を考へ共に學んで居ります子供に何と云ふてよいかわかりませんが始める前にお祈を致しますが其塲に適當な言葉を敎へて下さいますので感謝して居ります、來る金曜日に學校では遠足に行きますので御座います遠足は二隊にわかれまして四年以上は箱根に三年以下は東京見物に行きますので御座います私はうれしくて〱この頃は遠足の話ばかり致して居ります。「女子青年界」にて色々有益なことを習ひうれしく拜見致して居ります誌上の中に佐藤昌子樣のお書きになりました迷信といふのを拜

見致しました時私もこの夏故郷に行きました時の事を思ひ出しました今少し申上げます。私の父は　氣で永らく休んで居りましたが色々の手を盡して何とかの果實を食べてよほどよくなりました、併し私は赤十字病院へ入院して欲しくて左様申してみましたら病院よりも伊勢の神様に見て戴いた方がよいと申しまして次の日兄が山田へ神様に伺ひに行きましたら今診察して貰ってる　者は惡いし又家に十七の男の子があつて其の子の心配をするからわるいなど申されたさうで兄が家に歸り其通り話しましたら父は大變快くなつたと申しました本當に神經が重だと誰でも申されます早く迷信より家の者が救ひ出されたいものです。此夏修養會に行かれた方が色々受けためぐみをお話し下さいました皆様がどうしても一度は修養會に何とかして行きたいと申して居られます私も來年は出席したいと願って此ります。

○四十名程の新購讀者出來申候

横濱　松本松枝

燈火親しむ候と相成り候折から、本部も定めし此の秋には御事業をも愈々進ませ給ふ事と祈り且つ感謝いたし居り候、其　私も主の御恵みにより誠に愉快なる生活をつゞけ居り候、當青年會も御蔭様にて漸く目覺めて來る様に御座候會員一同の熱心も加はりこの秋には何か新らしき事をせんとて意氣込み來る十一月初　には協同傳道も當地に御座候へば其の節當青年會も何か御助けが出來れば喜しと存じ居り候。もう一つは感謝祭を大きく致さんと、此の度の戰亂にて當地にては失業者殊に多く中には糊口に迷ふ者さへ尠なからず、なほ出征軍人の家族にても慰安を要するもの數多く候へば彼れ等も成る可く多く感謝祭の折になぐさめ度存じ居り候、學校にては豫科の小さき生徒までが一心になり古き衣服、足袋布切給はがき等持ち寄り準備に忙しく候、本年は成可く良き方法にて致し度何卒皆様方の御考へを御敎へ下され度切に御願ひ申上げ候。「女子青年界」の購讀者は此度大分增加いたし只今までに四十名程の新購讀者出來申候、私共がかく爲すべき事を多く與へられし只今謙遜と柔順をもて其の務を果し得る様御祈り下され度候。

○神の爲に働かばやと勵まされ居候

尾ノ道　阪本花代

昨日「女子青年界」相達し大喜びにて拜讀いたし居り候もつと神の爲に働かばやと非常に勵まされ居り候修養會御講演の續きを友に聞かせ度くてたまらず誠に御多忙中恐れ入り候へども　冊御送り下され度願ひ上げ候。

○一友人が清い神の婢の數に入る

福山　高折加那於

秋はやはり物思ふ時で御座います、東の空をながめては故郷をしのぶので御座います、私も御かげ様にて毎日誠に忙しく暮して居ります故何の不足も感ぜず感謝の日を送くつて居ります、此頃は一週に十八時間の授業となり全校を受持つ事となりました。扨此度神様の尊い思召しによりまして一友人が清い神の婢の數に入る事を許され誠に感謝に堪えないので御座います、その報知を受け取りました時は思はず涙が頰をつたいました、私の様な不束な者の御祈りも御きゝ上げ下さいまして彼の友を實に幸な生涯に入れる事か出來たかと思ひますと嬉しくてくゝ勿論皆々様が彼女のため御祈り下さつたからでありますが、こ

れからは重い責任を果して行かねばならぬのですからとも〴〵助け合つて眞直に信仰の道を辿つて參りたいと望み期して居ります。

○月々十五部御送り下され度候

上海　中村玉子

近頃女子青年會の事も日に增し盛に御發展なされし事どもすべて皆々樣の熱心の結果と感謝いたし居り候、私共の小さき祈も聽かれ當地にふさはしき牧師石川四郞氏を傳道局より御遣はし下されし事、私共一同感謝にたえざる次第に御座候。昨日(二十日)より新らしき教會にて新らしき牧師の元に朝の禮拜も夕の祈り會も催され一同喜びと希望にみたされつゝ散會致せし事に御座候、凡ての祈りのきかれしも皆々同情に富める人々の厚き祈り結果に外ならずと感謝致し居り候。

扨「女子青年界」月々十五册御送附願ひ度く、此の後は皆樣にお勸め致し益々冊數も增す事と存じ候、過日御送り下されし五冊の分は皆樣に御紹介するため御渡し申候。支那の金は日本金より低く時によりては每日の樣に變化致し相場も違ふ事と存じ候間當地にて一部十錢づゝに致し郵便代としてあまりたる所は皆樣に御かへし致す事と相談いたし居り候、亦學校とは異り一所に集まる人々に候はねば御送附下されてより一二週間はおくれて送金致す樣な事となるを心得居り候。建林つね子姉がこの「女子青年界」の事に御熱心に御奔走下されし事に御座候、姉は長崎活水女學校の御出身にて實に熱心なる誠意のある同情に富る方に御座候、何れ上海の傳道及び教會の樣子など後便にゆづり御知らせ申上げ候。

○女子青年會休養所を設置致す樣相成候

山丸よね

小妹事豫て橫濱女子青年會にて皆々樣と御親しく致し居り候ひしが去る五月より當地に傳道者として働き居る者に御座候、當地は戶數一千戶重に輸出羽二重の工場多く工女は約一千名位之れありて機業はなか〳〵盛んに御座候、然し靈的方面は少しも振はず、教會は日本基督教會に御座候、每週日曜學校は午前九時より十時迄、禮拜は夜間にて出席者十名內外に御座候女子の信者は四五名之あり候も每週の出席者は三名位に御座候、かく振はざる場所に候併し幾多の女工のため何か致さんと存じ微力なる私共同志の者にて女子青年會休養所を設立いたす樣に相成り候は偏に神の御惠みと牧師初め諸兄姉方の厚き御盡力による事と感謝いたし居り候。目下休養所の會員は五十三名有之全部女工に御座候、休日は每月三日及十八日に御座候其の日には二三十名位は集まり申候て朝より終日遊び居り候、休養所の集會は土曜日及休日に致し居り候、又每日晝の一時間の休暇には裁縫を教へ居り候、中にはなか〳〵熱心なる者も之あり候殊に年期の工女とて十二三歲より十五六歲の少女は實にあはれなるものに御座候、朝は五時より午後十時まで働き候て僅かに小遣ひとして一ヶ月三十錢內外を給與せられ居るよしに御座候、斯る場所に候へば何の設備もなく實に名のみの休養所に御座候、經費は會費のみにて他より收入の道なく每月不足を生じ居り候もさしたる大金の必要も無之候併し唯々兄姉方の御同情のみにては每月の事故御氣毒にも存じ又他に不足を補ふべき助けにもならんかと存じ裁縫部を設立致し目下生徒募集致し居り候家賃はミッションより支給いたされ居候右樣の次第に候へば凡て不足勝に御座候、されど田舍の事とてどうか間に合ひ居る樣な次第に御座候、益々發展いたさんと存じ居り候、かゝる片田舍にも神の御名の許に女子青年會の連鎖あるを覺へ御祈り下され度候。

〇會友申込（本部報告）

（維持）野崎かい子　太田豊子

〇會友會費領收（本部報告）

金壹圓　鈴木秀子　上村いさを　村つる子
堀部國會

金貳圓　野崎かい子　ミスターウズウオース
ミセスサンダー

金五圓　ミセスニコデモス

〇雜誌「女子青年界」代金領收

金七拾錢

馬場ハル（自大正三年七月至同四年六月）　吉山いく（自大正三年十月至同四年九月）
星野靜枝（自大正三年五月至同四年四月）　毛利千代（自大正三年八月至同四年七月）
井上文子（自大正三年二月至同四年一月）　青柳みや（自大正三年三月至同四年二月）
川上らか（自大正三年十月至同四年九月）　三木たに（自大正三年十月至同四年九月）
太田豊子（自大正三年四月至同四年三月）　松井篤子（自大正三年三月至四年二月）
坂本壽子（自大正三年十月至同四年九月）　河合春子（自大正三年十月至同四年九月）
杉しづ子（自大正三年十月至同四年九月）　小田みと（自大正三年十月至同四年九月）
香川菊子（自大正三年十月至同四年九月）　越野とよ（自大正三年十月至同四年九月）
佐藤美代（自大正三年八月至同四年七月）　那須照子（自大正三年十月至同四年九月）
中川いと（自大正三年十月至同四年九月）　大田あつ（自大正三年十月至同四年九月）
千田富惠（自大正三年十月至同四年九月）　武市松子（自大正三年十月至同四年九月）
戸川千代（自大正三年十月至同四年九月）　山本秀子（自大正三年十月至同四年九月）
松田照子（自大正三年十一月至同四年十月）　大中萬壽（自大正三年八月至同四年七月）

金壹圓四拾錢（自大正二年八月至同五年八月）　田林八重子
金六圓五拾八錢（八九合併號四十七部代）　共立女學校青年會
金壹圓（自大正三年一月至同年十二月及寄附）　高添この子
金貳拾壹錢（八九合併號及十月號代）加茂すが子　田邊とし子
金拾四錢（八九合併號）　今田文子
金四拾九錢（自大正三年八月至同四年二月）　瀧澤とみゑ
金四拾貳錢（自大正三年十月至同四年三月）　安孫子久江
金壹圓四拾錢（自大正三年二月至同五年一月）　ミセスアッキスリング
金貳拾八錢（自大正三年十月至同四年一月）　多々良せつ

支部及寄宿舍其他位置

東京基督教女子青年會	東京市麴町區三番町四一
廣島女學校青年會	廣島市上流川町
同志社女學校青年會	京都市上京區今出川通
プール女學校青年會	大阪市西區川口町一二
ウヰルミナ女學校青年會	大阪市東區玉造
札幌女子青年會	札幌區北四條北星女學校內
宮城女學校青年會	仙臺市東三番町
クリスチアン女學校青年會	宇都宮市二條町七二
フエリス女學校青年會	橫濱市山手町一七八
共立女學校青年會	橫濱市山手町二一二
女子英學塾青年會	東京市麴町區五番町一六
女子學院青年會	東京市麴町區上二番町三三
青山女學院青年會	東京市青山南町七ノ一
青山女子手藝學校青年會	東京市青山南町七ノ一
女子傳道學校青年會	東京市小石川區指ケ谷町八四
神戶女學院青年會	神戶市山本通四丁目
金城女學校青年會	名古屋市東區白壁町四丁目
盛岡女子青年會	盛岡市內丸タピング方
德島女子青年會	德島市富田浦仲町ミスリツン方
橫濱女子青年會	橫濱市本町五一
第一寄宿舍	東京市牛込區納戶町四五
第二寄宿舍	東京市小石川區水道町(安藤坂)
外國婦人宿泊所	東京市赤坂區檜町(乃木坂)
幼稚園	東京市小石川區金富町五二
旅行者の友事務所	東京市本鄉湯島

National Committee

Headquarters. 12Tamachi Sanchome, Ushigome,Tokyo

Mrs. Hana Ibuka, Chairman
Dr. Kei Okami, Vice-Chairman
Miss Tami Mitani, Secretary
Dr. Tomo Inouye, Treasure
Miss Michi Kawai,
Active Member World's Committee

Resident Members	Non-Resident Members
Miss Ume Tsuda	Madame Asa Hirooka, Osaka
Miss A. B. West	Mrs. Koito Saiki, Kyoto
Miss Uta Suzuki	Miss M. F. Denton, Kyoto
Miss Kita Hasegawa	Miss Michi Matsuda, Kyoto
Miss Sarah Ellis	Miss Yoshi Kajiro, Okayama
Miss Chiyo Yamada	Miss K. Tristram, Osaka
Mrs. E. W. Clement	Miss Susan Searle, Kobe

Secretaries

Miss Michi Kawai, National
Miss A. C. Macdonald, National,
Miss Ruth Ragan, National Office
Miss Margaret Matthew, on Furlough
Miss G. R. Watney, Acting General, Tokyo
Miss Mary Page, Acting Associate, Tokyo
Miss M. Baker General, Yokohama

本誌定價	
一部(郵共)	金七錢
一ケ年分	金七拾錢
海外	金拾壹錢
	金壹圓廿四錢

廣告料	
一頁	金六圓
半頁	金三圓五十錢
四分ノ一	金貳圓
一行	金貳拾錢

大正三年十月廿八日印刷納本
大正三年十一月一日發行

發行所 東京市牛込區田町三丁目十二番地 日本基督教女子青年會
編輯兼發行人 東京市牛込區田町三丁目十二番地 河井道子
印刷人 東京市芝區櫻田和泉町七番地 鈴木大次郎
印刷所 東京市芝區櫻田和泉町七番地 三成舍

實用的化粧水 パンリリー の外に

●白粉下、白粉の溶水として白粉のノリノビを自由に化粧を美しく長く保たせる化粧料がありますか。

●皮膚を柔軟に色艶をよくする化粧料がありますか。

●ニキビ、顔のアレ、アセモ等によくきく化粧料がありますか。

●つけた時ばかりでなく洗ひ落した跡の皮膚が益々綺麗になります化粧料がありますか。

●當代の紳士淑女にして之を御使ひにならない方がありますか。

パンリリー
製造販賣元

新藤商店

東京駒込團子坂下
電話下谷六四九九番

萬年筆修理

萬年筆御使用諸賢の御便宜を計り萬年筆一切の修理を迅速叮嚀に且つ頗廉價を以て御取扱可申候東京市内は御一報次第參上可仕諸地方の御方は現品御送被下候へば御修理の上直に御返送可申上候

修理料金表は御一報次第御送呈可仕候

東京市本郷區駒込坂下町一一九

パンリリー萬年筆
製造販賣元
合資會社 **エス、エス商會**
電話下谷六四九九番

パンリリー萬年筆

十四金ペン付。インキ止安全裝置。
クリップ付。

實用向逸品御用命願上候。若し現品御覽の上御意に充たざる節は直ちに御返戻相成度然る上は代金早速御返却可申候

女子青年界第拾壹卷第十號

大正三年十月廿八日印刷納本大正三年十一月一日發行　明治卅七年五月七日第三種郵便物認可